



# 2018 事業報告書 ANNUAL REPORT

## 公益財団法人 北九州産業学術推進機構

FAIS

Kitakyushu Foundation  
for the Advancement of Industry,  
Science and Technology

## はじめに

公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)は、平成13年に地域の産業を支える知的基盤として開設された北九州学術研究都市を中心、地域に集積する大学・研究機関と産業界の連携をコーディネートする機関として、また、中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動しています。

現在、北九州学術研究都市には、北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科、九州工業大学大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、福岡大学大学院工学研究科の1学部4大学院、その他に12の研究機関や、48の企業等が集積しています。

開設時には約300人だった学生数は、現在約2,500人となり、そのうち留学生は700人を超え、まさにアジアを中心とした各国からの頭脳が集まるキャンパスとなりました。

こうした中、FAISは平成30年4月、公益財団法人九州ヒューマンメディア創造センター(HMC)と統合しました。この統合により、ものづくり分野などに関して企業や大学等が有するシーズ等に精通したFAISと、情報通信分野で優位性を持つHMCのそれぞれの強みを融合し、ロボットやIoT(モノのインターネット)の活用等による地域企業の生産性向上に向けた様々な取り組みを行ってまいりました。

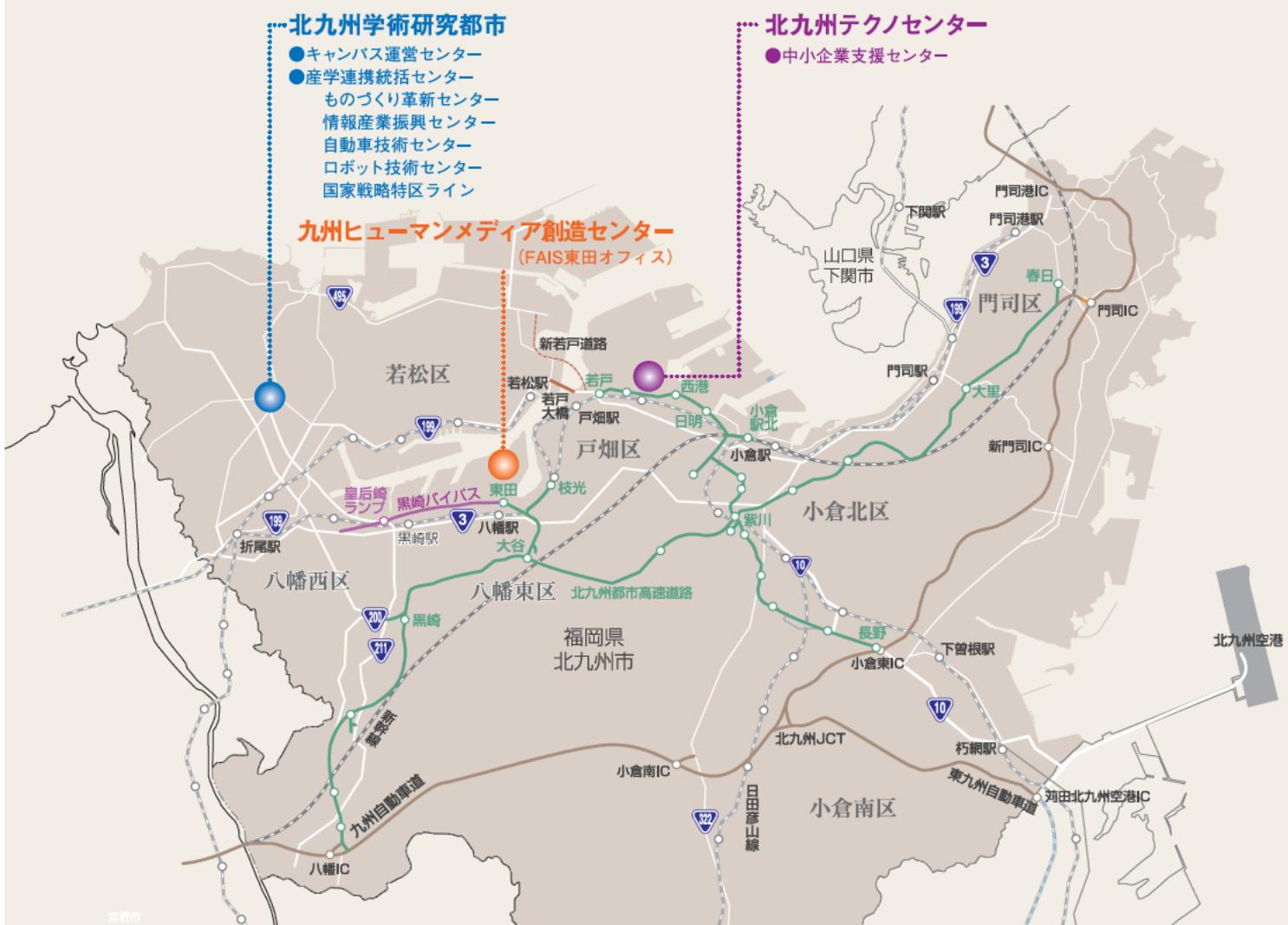
また、今後、これまでの产学研連携による研究開発や学術研究への支援に加え、第5期中期計画(平成30年度～令和4年度)の初年度として、自立できる産業づくりのための各種施策の推進により、地域企業の生産性の向上や産業技術の高度化、活力ある地域企業群の創出・育成に寄与すべく、取り組みを推進してまいりました。

本事業報告書が、公益財団法人北九州産業学術推進機構の取り組みをご理解いただくための参考となれば幸いです。



# 目 次

(公財)北九州産業学術推進機構について	1
<b>学研都市の一体的運営</b>	
北九州学術研究都市の概要	3
学研都市の進出大学、研究機関、企業および产学連携施設	5
アジアの学術研究拠点の形成	9
地域交流・広報活動・施設の市民開放	11
<b>産学連携等の推進</b>	
産学連携の取り組み(全体フロー)	13
情報収集・発信、産学交流の促進	13
研究成果の特許化と技術移転(北九州TLOの運営)	16
研究開発支援	17
技術拠点化の推進	20
北九州e-PORT構想2.0の推進	24
国家戦略特区の取り組み	25
<b>中小企業・ベンチャー企業への総合的支援</b>	
中小企業の総合的支援	26
<b>財団運営</b>	
評議員および役員名簿	27
決算資料	28
アクセスマップ	32

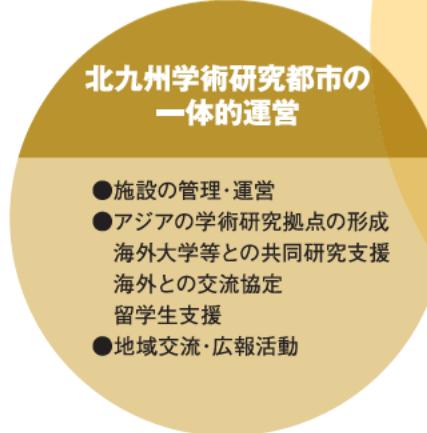


# 公益財団法人 北九州産業学術推進機構



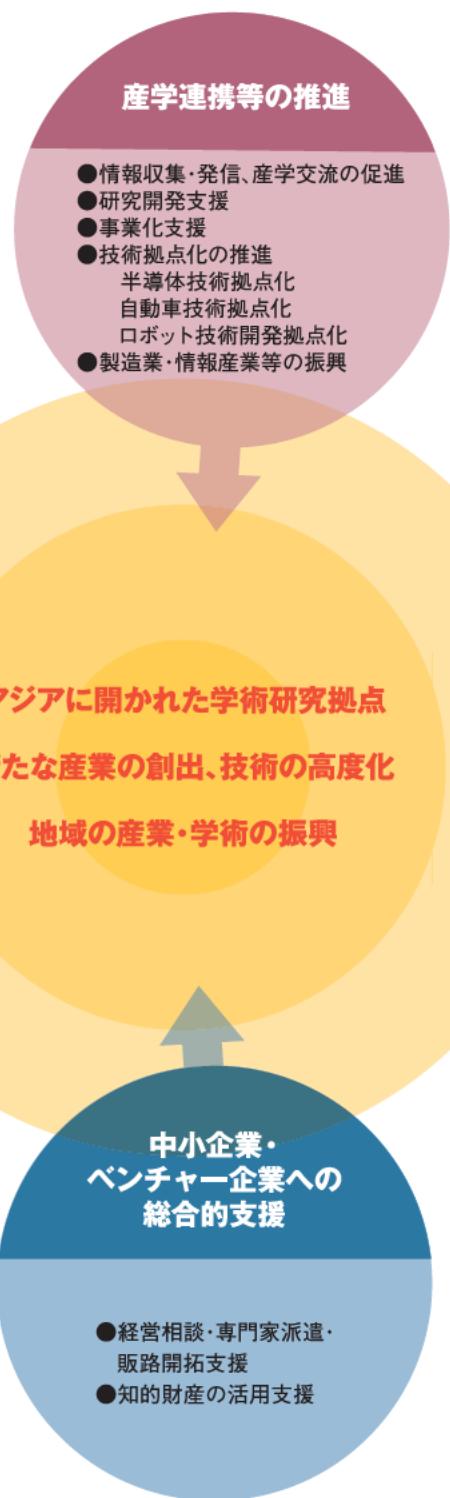
Kitakyushu Foundation  
for the Advancement of Industry,  
Science and Technology

- 理事長／松永 守央
- 基本財産／3億8,550万円(北九州市及び民間企業からの出捐金)
- 役員等構成／[学界] 学研都市参画大学副学長 市内理工系大学長等  
[産業界] 商工会議所等経済団体  
[行政] 北九州市、福岡県
- 職員数／65名(令和元年5月1日現在)、市派遣:12名、県派遣:1名、  
民間出身等:27名(うち出身12名)、事務嘱託等:25名
- 平成30年度事業費(支出決算額)／18.5億円



## キャンパス運営センター

北九州学術研究都市内にある共同利用施設の管理・運営を行うとともに、進出大学間の連携・交流を促進し、学研都市の一体化的な運営を行っています。



## 中小企業支援センター

戸畠区中原新町2-1(北九州テクノセンター1階)

中小企業の経営革新・創業をワンストップで支援しています。創業や経営の改善・革新を目指す個人や中小企業の取り組みを支援するため、相談窓口、専門家派遣等のほか北九州知的財産支援センターの運営も行っています。





## 産学連携統括センター

中小企業を中心とした地域企業の生産性向上や、オープン・イノベーションを通じた新しいものづくりの促進等により、産業の高度化や新産業創出を進めています。



- ◎産学連携のコーディネート
- ◎北九州学術研究都市の研究シーズの発信
- ◎産学交流の場の提供
- ◎産学共同研究プロジェクトの企画推進、研究成果の事業化支援
- ◎産学共同研究開発への支援
- ◎北九州TLOによる技術移転支援

## ものづくり革新センター

従来型支援(市内企業・大学が提案・実施するプロジェクトの競争的資金獲得・運営等)に加え、激変するものづくりに対応すべく、「革新的ものづくり」を実現するプロジェクト創出、研究会運営等を通して、市内企業の産業競争力を強化支援します。

また平成30年度からは、半導体・エレクトロニクス分野も取込み、同産業の振興のため、市内関連企業を支援しています。

- ◎「革新的ものづくり」実現に向けた支援活動
- ◎研究開発支援
- ◎事業化支援
- ◎半導体関連企業の支援



▲セミナー

## 情報産業振興センター

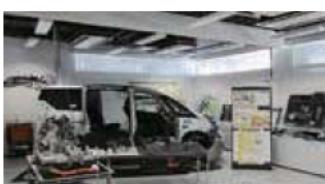
新ビジネスの創出、地域産業の高度化を実現するため、北九州e-PORT構想2.0の推進により様々な支援を進めています。また、平成30年度の(公財)北九州産業学術推進機構と(公財)九州ヒューマンメディア創造センターの統合を機に、これまで積み上げてきた両財団の知見を結集し、生産性向上のプロジェクトを創出するための仕組みづくりを行います。

- ◎生産性向上事業の創出支援
- ◎新規プロジェクト創出・事業化支援
- ◎地域産業の成長支援
- ◎高度ICT人材育成

## 自動車技術センター

自動車産業の拠点化を推進するために、産学官連携による研究開発支援・人材育成を行っています。企業技術者と大学研究者のコーディネートによる研究会活動をベースに共同研究開発を促進するとともに、学研都市3大学が運営する連携大学院の教育プログラムを支援するなど、専門人材の育成に取り組んでいます。

- ◎研究開発支援
- ◎人材育成



▲クルマの未来館ひびきの



▲自動車工学「エンジン分解・組立実演」の様子  
(協力:日産自動車九州㈱)

## ロボット技術センター

北九州地域のロボット産業振興を目的とし、北九州ロボットフォーラムの運営を行っています。ロボット技術の調査、開発から実証までのコーディネートや学研都市内の大学とロボット関連企業との共同研究開発を通して、ロボットの技術開発および実証の拠点化を進めています。また、市内企業へのロボット普及を推進するための導入支援事業や人材育成活動を実施しています。



▲センター保有設備例

- ◎ロボット技術の調査、開発
- ◎実証化・事業化のコーディネート
- ◎人材育成
- ◎中小企業へのロボット導入支援

## 国家戦略特区ライン

ロボット技術等による介護従事者の負担軽減と介護の質の向上を目的として、介護ロボット等の実証を行い、作業分析により介護ロボット等の導入効果の検証を行っています。また、「北九州市介護ロボット開発コンソーシアム」を運営し、作業分析等で得られた情報や介護現場の声を踏まえた介護ロボット等の開発や改良、安全性検証や倫理審査にかかるサポート、開発費補助等の支援を行っています。

- ◎介護施設における作業観察・分析
- ◎介護ロボット等の実証
- ◎北九州市介護ロボット開発コンソーシアム運営
- ◎介護ロボット等の開発・改良支援



▲移乗アシスト装置(株式会社安川電機)

# 学研都市の一体的運営

## 北九州学術研究都市の概要

### 北九州学術研究都市とは

北九州学術研究都市は、「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして、平成13年4月にオープンしました。現在、進出した大学が北九州学術研究都市の理念を共有して、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

#### 大学等の『知』を活用した 地域の産業・学術の振興

アジアに開かれた学術研究拠点

新たな産業の創出・技術の高度化

新たな技術と  
豊かな生活を  
創り出す  
**アジアの  
先端産業都市  
の実現**

(北九州市新成長戦略の目標)

### 北九州学術研究都市の特色

#### 理工系の大学・研究機関、 研究開発型企業等を 同一のキャンパスに集積

##### ◎国・公・私立大学(1学部4大学院)

北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科  
九州工業大学大学院生命体工学研究科  
早稲田大学大学院情報生産システム研究科  
福岡大学大学院工学研究科

##### ◎研究機関(12機関)

##### ◎研究開発型企業等(48社)

(令和元年7月1日現在)

#### 進出大学の教育・ 研究理念の共通化

- ◎先端的な科学技術分野での  
教育・研究の展開
- ◎産学連携の促進
- ◎起業家精神の育成
- ◎アジアの学術研究拠点の形成

#### 研究者・教員・学生相互の交流と連携

- ◎進出大学による共同研究、教員等の交流
- ◎単位互換の実施
- ◎進出大学による連携大学院の運営

#### キャンパスの一体的な運営、 施設の共同利用

- ◎学研都市進出大学の代表者で  
構成する「キャンパス運営委員会」による  
共同事業の企画・立案
- ◎図書室、情報処理施設、利便施設の共同利用

## 北九州学術研究都市整備事業

### ◎整備の基本方針

北九州学術研究都市では、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅地の供給を同時に「複合的な街づくり」を進めています。

### ◎開発地域／若松区西部・八幡西区北西部

◎開発総面積／約335ha

◎計画人口／12,000人

### ◎整備スケジュール

第1期事業(約121ha)

平成7年度～平成18年度

事業主体:(独)都市再生機構

第2期事業(約136ha)

平成14年度～平成30年度

事業主体:北九州市

第3期事業(約68ha)

未定

河川事業(約10ha)

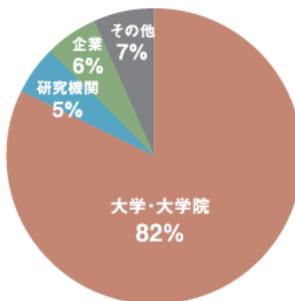
### 【土地利用計画(案)概略図】



### 北九州学術研究都市の昼間人口 (令和元年5月1日現在)

約3,500名

学生	2,456名 (うち留学生747名)
教員	173名 (うち専任教員のみ うち企業出身者31名)
研究員	210名 (うち外国人研究員68名)



## 北九州学術研究都市整備のあゆみ

平成元年(1989年)	「北九州学術研究都市基本構想」策定
平成8年(1996年)	2月 「北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業」(第1期事業)着手
平成12年(2000年)	4月 「九州工業大学大学院生命体工学研究科」開設
<b>平成13年(2001年) 4月</b>	<b>「北九州学術研究都市」オープン</b>
平成14年(2002年)	1月 「北九州市立大学国際環境工学部」開設
	4月 「共同研究開発センター(産学連携センター2号館)」開設
	「福岡大学大学院工学研究科」開設
	「北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業」(第2期事業)着手
	5月 「情報技術高度化センター(産学連携センター3号館)」開設
平成15年(2003年)	4月 「北九州市立大学大学院国際環境工学研究科」開設
	「早稲田大学大学院情報生産システム研究科」開設
平成17年(2005年)	4月 「事業化支援センター(産学連携センター4号館)」開設
平成18年(2006年)	6月 「北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業」(第1期事業)完了
平成20年(2008年)	7月 「技術開発交流センター(産学連携センター5号館)」開設
平成21年(2009年)	4月 「北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース」開設
平成23年(2011年)	北九州学術研究都市 10周年
平成25年(2013年)	4月 「北九州学術研究都市連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース」開設
	10月 「産業用ロボット導入支援センター」開設
平成29年(2017年)	4月 「北九州市立ひびきの小学校」開校
平成30年(2018年)	6月 「北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業」(第2期事業)完了

# 学研都市の進出大学、研究機関、企業および产学連携施設

## 北九州学術研究都市進出大学・产学連携施設

### 1 北九州市立大学

#### 国際環境工学部

■学生定員:1,005名  
 エネルギー循環化学科  
 機械システム工学科  
 情報システム工学科  
 建築デザイン学科  
 環境生命工学科

#### 大学院国際環境工学研究科

■学生定員:336名  
 環境システム専攻  
 環境工学専攻  
 情報工学専攻

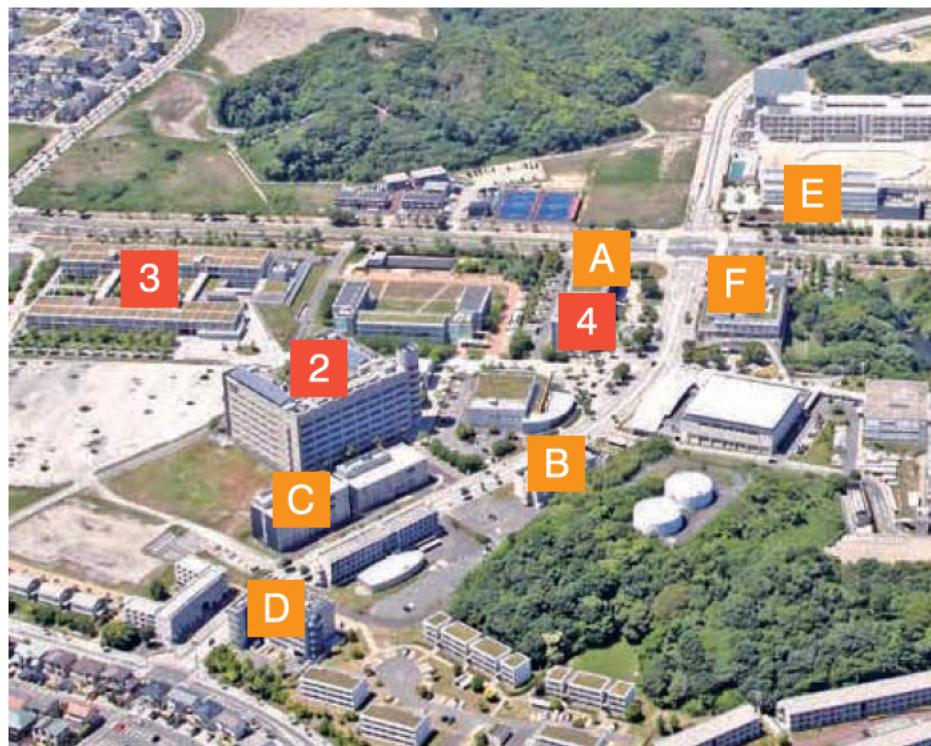


### 2 九州工業大学大学院



#### 生命体工学研究科

■学生定員:352名  
 生体機能応用工学専攻  
 人間知能システム工学専攻  
 生命体工学専攻



### 3 早稲田大学大学院



#### 情報生産システム研究科

■学生定員:460名  
 情報アーキテクチャ分野  
 生産システム分野  
 集積システム分野

#### 学生数および教員数

(令和元年5月1日現在)

大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学 国際環境工学部	1,108 (26)	—	—	5 (5)	0 (0)	1,113 (31)	87
北九州市立大学 国際環境工学研究科	—	317 (70)	96 (81)	0 (0)	0 (0)	413 (151)	—
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	—	254 (27)	146 (57)	4 (4)	4 (4)	408 (92)	45
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	—	444 (412)	71 (55)	2 (2)	0 (0)	517 (469)	39
福岡大学大学院 工学研究科	—	4 (4)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (4)	2
合計	1,108 (26)	1,019 (513)	314 (193)	11 (11)	4 (4)	2,456 (747)	173

( )内は留学生数

\*産学連携センター内

**A 産学連携センター**産学連携センター  
1号館**産・学・官が手を組んで研究を  
進める中核施設**

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、100人程度まで対応できる研修室や会議室なども提供しています。

- 貸研究室(31室、オフィス系)
- 研修室、会議室(中・小)、特別会議室、特別応接室

**F 学術情報センター**図書室  
情報処理施設**情報を集積・発信する  
マルチメディアステーション**

学術情報の収集提供(図書室)の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、キャンパス内に整備された大容量ネットワークを利用したさまざまな情報通信サービスを提供しています。

**貸研究室賃料**

◎2,000円／m<sup>2</sup>・月(共益費別 500円／m<sup>2</sup>・月)  
(例: 研究室50m<sup>2</sup>の場合およそ150万円／年 光熱水費等別)

**B 共同研究開発センター**産学連携センター  
2号館**半導体微細加工技術の  
研究開発を支援する施設**

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習(CMOSプロセス)の受け入れも可能です。

- 貸研究室(7室、オフィス系)
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置  
(イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置(RTA)、ダイシングソー、ポンディング装置等)

**C 情報技術高度化センター**産学連携センター  
3号館**ネットワークや半導体  
設計に関する  
研究開発を行う施設**

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。コンテンツ制作や半導体設計を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。

- 貸研究室(33室、オフィス系・小規模研究室)
- 半導体設計を行う研究開発機器等を設置

**D 事業化支援センター**産学連携センター  
4号館**大学発ベンチャー等の  
研究開発や事業化を  
支援する施設**

オフィス系研究室のほか、機械系と化学系の研究室や小規模ブース単位で使用できる共同研究室を提供しています。

- 貸研究室(36室、オフィス系・機械系・化学系)
- 会議室(中・小) ●共同研究室(10ブース)
- シェアオフィス

**E 技術開発交流センター**産学連携センター  
5号館**カーエレクトロニクス、  
ロボット分野等での新たな  
技術開発を支援する施設**

北九州学術研究都市でのこれまでの成果を活用し、カーエレクトロニクス、ロボット分野での技術開発を支援する施設です。また、学術研究を目的に訪れる方のための宿泊室も提供しています。

- 貸研究室(48室、オフィス系・機械系・化学系)
- 宿泊室(9室、シングル8室・ツイン1室) ●会議室(中・小) ●交流室(2室)

※FAISは、北九州市から指定管理者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。

産学連携施設が充実する北九州学術研究都市には、大学だけではなく研究機関および半導体設計関連企業を中心とした研究開発型企業の進出も進んでいます。また、北九州学術研究都市の大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業も12社入居しています。

## 進出研究機関

令和元年7月1日現在

	研究機関等の名称	入居場所	研究内容
1	北九州市立大学 環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境、エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
2	九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス 研究センター	九州工業大学 および 共同研究開発センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究開発
3	九州工業大学 太陽光エネルギー変換 研究センター	九州工業大学	太陽光エネルギーを直接電気エネルギーに変換、又は化学エネルギーに変換、保存する材料、及びそれらのデバイスに関する研究開発
4	九州工業大学	産学連携センター	ロボット・AIに関する研究
5	早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学 情報生産システム 研究センター	自動車エレクトロニクスおよびLSI分野における国際的水準の高度な研究、人材育成
6	福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
7	一般社団法人 HiBD 研究所	産学連携センター および 事業化支援センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
8	一般社団法人 行動評価システム研究所	情報技術高度化 センター	スポーツ選手向けメンタルコンディションチェックアプリの開発
9	一般財団法人 ファジィシステム研究所	共同研究開発センター および 技術開発交流センター	ファジィ理論を応用した情報処理システムに関する試験研究
10	公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究 事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けた、リサイクル技術の開発や社会システムの確立に取り組む産学官民による研究開発および事業化を支援
11	現代美術センターCCA 北九州事業所	情報技術高度化 センター	マルチメディアコンテンツの創造に向けた情報通信による表現技術の研究・開発、大学と連携した人材育成
12	北九州市環境エレクトロニクス 研究所	事業化支援 センター	次世代パワー半導体の設計、信頼性研究、電源の小型化等の研究および大学、企業等との共同研究・人材育成

## 進出企業

令和元年7月1日現在

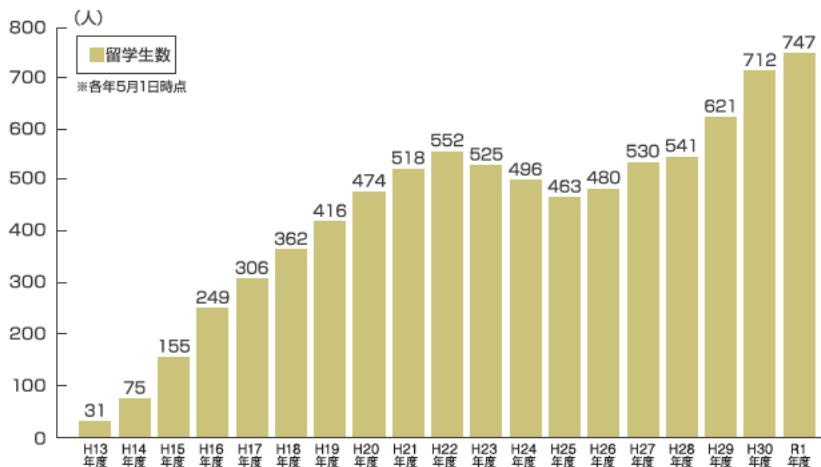
順位	入居場所	企業・研究機関等名	事業内容
1	産学連携センター	(株)インフォグラム	システム開発、パソコン教育サービス、インターネットサービスおよび 前各号に付帯関連する一切の業務
2		石田特許事務所	特許、及び実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング
3		KOA(株)	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
4		プラントメイクRISE(株)	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3Dスキャナーによる構造計算ソフトの開発
5		(株)コイシ	実験と測定
6		AIM QEL WIZBL JAPAN(株)	ブロックチェーン技術及びその技術を使用した情報システムの開発・研究
7	開発セミナーセンター	(株)セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守（24時間365日）
8		(有)K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
9	情報技術高度化センター	(株)Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
10		三島光産(株)	薬剤自動除包分配機及び調剤薬局関連機器の開発、製造
11		(株)健康資源リサーチアンドコンサルティング	教育支援システムの研究開発
12		(有)OHG研究所	臨床検査および臨床検査技術の研究開発、生体試料分析
13		(株)明菱	機能性樹脂材料に関する九州工業大学との共同研究 産業廃棄物である金属スラッジを利用したフィラーの研究
14		● RoboPlusひびきの株	メカトロニクス設計・製造及び販売、コンサルタント業
15		(株)ITS	半導体集積回路等電子部品の研究開発
16	事業化支援センター	● (有)ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発
17		● 実研開発(有)	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売
18		● (株)プラテック	Webシステム開発、アカデミックソリューション事業
19		(株)sMedio	次世代放送（高度帯域衛星放送）におけるシステムの研究開発
20		博通テクノロジー(株)	無線センサネットワークによる照明節電制御システムの開発
21		ひびきの会計事務所	山口公認会計士・税理士事務所（公認会計士業務）
22		(株)AKシステム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野への応用研究開発
23		カルソニックカンセイ(株)	北九州市（環境エレクトロニクス研究所）との共同研究
24		● アーティックス(株)	フィンテックや人工知能に関する研究開発、コンピューターソフトウェアの研究開発
25		● (株)石炭灰総合研究所	改質フライアッシュコンクリートの製造システムに関する研究開発
26		(株)豊光社	分子接着技術を用いた曲面配線技術および高輝度・高信頼性LED照明の研究開発
27		● 華榮通商(株)	中国に応用できる環境技術、環境関連型製品の研究開発
28		(株)TuSimple JAPAN	車両の自動運転技術の研究開発、設計及び販売
29		● ミライワーカシステム合同会社	労働作業負担ツール開発及び関連事業
30		(一社)進路指導・キャリア教育支援機構	中等教育における進路指導・キャリア教育・就職指導の研究
31		ヒビト・デザイン（起業予定）	子どもの絵や作品をデータ化し、デザインとの組み合わせによって保存することで、子どもの将来に及ぼす影響とその効果の研究
32		オングリット(株)	社会インフラ（構造物）調査・診断機器開発
33		環境エネルギー(株)	バイオジェット燃料の開発・実用化、バイオディーゼル燃料の高品質化
34		J.A.M.Engineering Institute	長崎大学大学院工学研究科、八幡電機精工(株)との「モータードライブ技術の共同研究」および「研究成果事業化」
35		● ひびきの電子(株)	電界共振型生体センシング及びセンシングデータ解析システムの開発
36		(株)環境フォトニクス	植物育成用LED光源等の研究・開発・販売
37	技術開発交流センター	(株)シキノハイテック	半導体設備の設計/製作/調整、LSI回路設計/レイアウト等
38		吉川工業(株)	RF-IDに関する研究開発事業
39		(株)C & Gシステムズ	金型設計・加工用CAD/CAMソフトウェア開発
40		シャボン玉石けん(株)	無添加の化粧石けん、家庭用洗浄剤、消火剤などの製造販売
41		(株)トリコ	電気部品の開発・修理
42		● (株)F I L T O M	プラセンタエキス（胎盤液）を使った化粧品の開発・製造・販売
43		アイシン精機(株)	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発
44		京都電子工業(株)	新規センサー・動作の技術要素確立のための試作・評価
45		(一社)無人機研究開発機構	無人機全般について調査、研究および技術向上について知識の交換、情報の提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究の進歩普及
46		● (株)セキュアサイクル	行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発およびセキュリティ事業
47		(株)安川電機	ロボットの試験・人の動作の模倣
48		その他 1社	

※●印は学研発ベンチャー企業（12社）

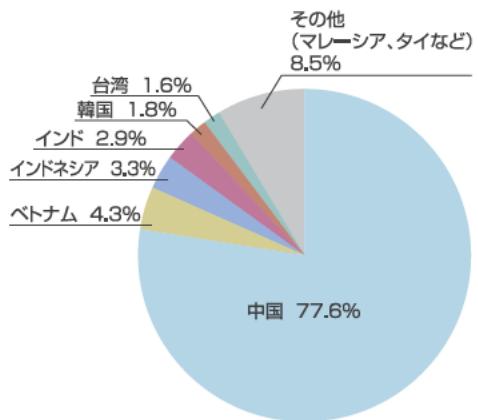
## アジアの学術研究拠点の形成

### 北九州学術研究都市の留学生

#### 【留学生数の推移】



#### 【出身国内訳(30か国)】



### 留学生の支援と優秀なグローバル人材の育成

#### FAIS留学生就職支援プログラム事業の運営

北九州学術研究都市内の3大学(北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学)の修士留学生を対象に、日本企業への就職を支援する「FAIS留学生就職支援プログラム」事業を実施しました。

受講生	11名(九州工業大学2名、早稲田大学9名)
プログラム	・就職支援講座(就活セミナー、模擬面接セミナー、就活カウンセリング、身だしなみ・マナー講座等)
	・就活日本語講座
	・日本ビジネス講座(講義は北九州市立大学ビジネススクールの講師に依頼)



昨年の就職支援プログラムの様子

#### 語学教育センターの運営

留学生や北九州学術研究都市に立地する企業・研究機関の職員を対象に、日本語の講座を開講する語学教育センターを運営しました。

- 日本語クラス／習得レベルにあわせた初級からビジネス日本語まで  
(春期・秋期各9クラス)
- 平成30年度受講者／日本語229名



日本語講座

## 留学生交流事業への助成

学研都市の留学生と地域住民との交流事業などを支援するため、NPO法人等が運営する事業に対して助成を行いました。

## 留学生への宿舎の提供・奨学金の給付

総戸数200戸の留学生宿舎を提供するとともに、北九州学術研究都市の大学院に在籍する留学生を対象に、「北九州学術研究都市奨学金」(1人年間60万円)を給付しました。

- 平成30年度受給者数／20人

## 冠奨学金の給付

高度人材として国内外で活躍が期待される学研都市の留学生と地域企業等のネットワーク構築支援目的として創設され、株式会社戸畠ターレット工作所、日本プライスマネジメント株式会社、オムロン株式会社、株式会社ホンダ・リサーチ・インスティチュート・ジャパンと個人から寄付金（総額828万円）をいただき奨学金を給付しました。



国際高度人材育成奨学金

- 平成30年度受給者数／11人



株式会社戸畠ターレット工作所奨学金



日価奨励奨学金（日本プライスマネジメント株式会社）



オムロン株式会社奨学金



株式会社ホンダ・リサーチ・  
インスティチュート・ジャパン奨学金

## 海外との交流促進

### 各大学における海外大学との交流協定（令和元年5月現在）

#### 【北九州市立大学国際環境工学部・同研究科・環境技術研究所（36機関）】

インド：インド工科大学ボンベイ校、フランス：パリ第7大学、中国：大連理工大学、ベトナム：ベトナム国家大学ハノイ校、タイ：タマサート大学 他31機関

#### 【九州工業大学大学院生命体工学研究科（18機関）】

タイ：スラナリー工科大学科学院、インドネシア：ブラウィジャヤ大学コンピュータ科学部、マレーシア：マラ工科大学 他15機関

#### 【早稲田大学大学院情報生産システム研究科（44機関）】

中国：北京大学、台湾：国立台湾大学、韓国：延世大学校、タイ：タマサート大学、フィリピン：アテネオ・デ・マニラ大学 他39機関

## 海外の研究機関等との交流協定

FAISは、台湾のサイエンスパークや中国の上海交通大学および韓国の韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校と交流協定を締結しています。交流協定を締結した大学や研究機関と北九州学術研究都市内大学との共同研究に対して助成等を行うほか、シンポジウム、セミナーを開催しています。

- 平成16年／台湾 新竹サイエンスパーク、南部サイエンスパークとの交流協定締結
- 平成19年／中国 上海交通大学との交流協定締結
- 平成21年／台湾 中部サイエンスパークとの交流協定締結
- 平成27年／韓国 韓国科学技術院(KAIST)、釜山大学校との交流協定締結

## 海外連携プロジェクトへの助成

北九州学術研究都市に進出した海外の大学（中国：上海交通大学、韓国：韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校）と共同研究を行う学研都市内の大学に助成しました。

- 平成30年度実績／共同研究開発助成2件（助成総額250万円）

## 地域交流・広報活動・施設の市民開放

### 地域交流イベントの開催

#### 第16回 北九州学術研究都市ひびきの祭

地元自治会など地域の方々との協同による「ひびきの祭」を開催し、多くの方へ科学やものづくりへの興味を喚起する場を提供しました。

日程／平成30年11月11日(日)

会場／北九州学術研究都市

内容／【FAIS企画】

- ・未来のパートナーロボ博
- ・図書・雑誌リサイクルフェア
- ・ICプロセス体験道場inひびきの  
<クリーンルームの作業体験>

【地域団体等企画】

- ・ひびきの秋祭り2018  
<屋外ミニステージ、ひびきの子ども神輿、地域出店など>
- ・あんぜん教室  
<地震体験車、消防車、けむり体験ハウス>
- ・ひびきの・みつさだ 気ままに音楽会 2018  
<園児演目、小・中学生合唱／吹奏楽、市民合唱等>

来場者数／約9,000人



#### 北九州学術研究都市サイエンスカフェ

研究者が市民の輪に入って科学の話題を提供、参加者がともに考えながら、科学技術に対する理解と関心を高めることを目的に開催しました。

日程／平成30年11月11日(日) テーマ／光を作ろう思いのままに～発光ダイオードを色々な方法で光らせます～

講師：早稲田大学大学院情報生産システム研究科 篠原 尋史 教授

会場：北九州学術研究都市 産学連携センター1階 展示ルーム



### 広報活動

#### 展示会への出展

下記の展示会をはじめ、15件の展示会に出展し、北九州学術研究都市の研究成果等を発信しました。

#### 北九州学術研究都市フォーラム関連展示

会期／平成30年12月11日(水)・12日(木)

出展内容／学研都市3大学及びFAISに

よる取り組みについてパネル  
展示や動画放映を行いました。

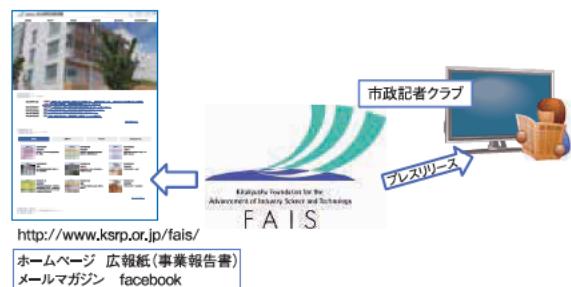


## 積極的な情報発信

北九州学術研究都市の取り組みや成果を、さまざまな機会や手法を活用して、国内外への情報発信を行っています。

**平成30年度報道件数／180件**

(内訳: テレビ・ラジオ等31件、雑誌12件、新聞137件)



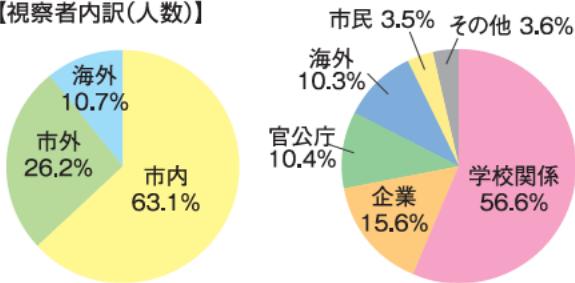
## 国内外研究者等の受け入れ

北九州学術研究都市に来訪した多数の国内外研究者等に対し、学術研究都市の設立目的や個別施設の概要、産学連携活動の取り組みや成果等を紹介しています。

**平成30年度視察者数／1,178人**

\*海外／101人(23カ国・地域) \*国内／1,077人

【視察者内訳(人数)】



## 市民も利用できる共同利用施設の運営

### 学術情報施設

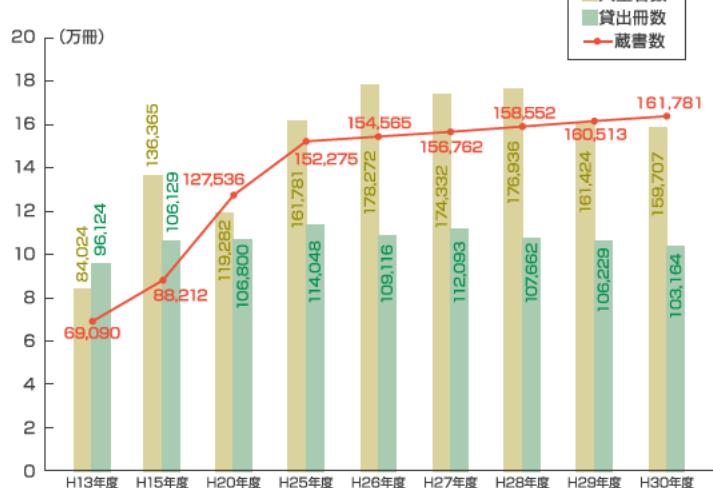
市立図書館とオンラインで結ばれ、他の市立図書館と同様に利用できる一般図書室と、北九州学術研究都市に進出している大学の専門図書を集中配架する専門図書室を運営しています。

また、パソコンを配備した講義室や、遠隔地とリアルタイムでテレビ会議ができる遠隔講義室等を備えています。



学術情報センター

【図書室利用状況・蔵書数の推移】



### コンベンション・体育施設

会議場／大型映像装置や同時通訳設備を備えた460席の会議用ホールで、講演会やセミナー、学会や国際会議等に利用できます。懇親会や展示会等に活用できるイベントホールを併設しています。

会議室／数人から200人規模まで、ニーズに応じた様々な形態の会議や研修、地域活動等に利用できます。

体育施設／大学の授業やサークル活動の時間以外は、地域や有志クラブ等の活動に利用できます。

(体育館・運動場・テニスコート)



会議場(外観)



会議場(メインホール)



会議場(イベントホール)



会議室



研修室



体育館



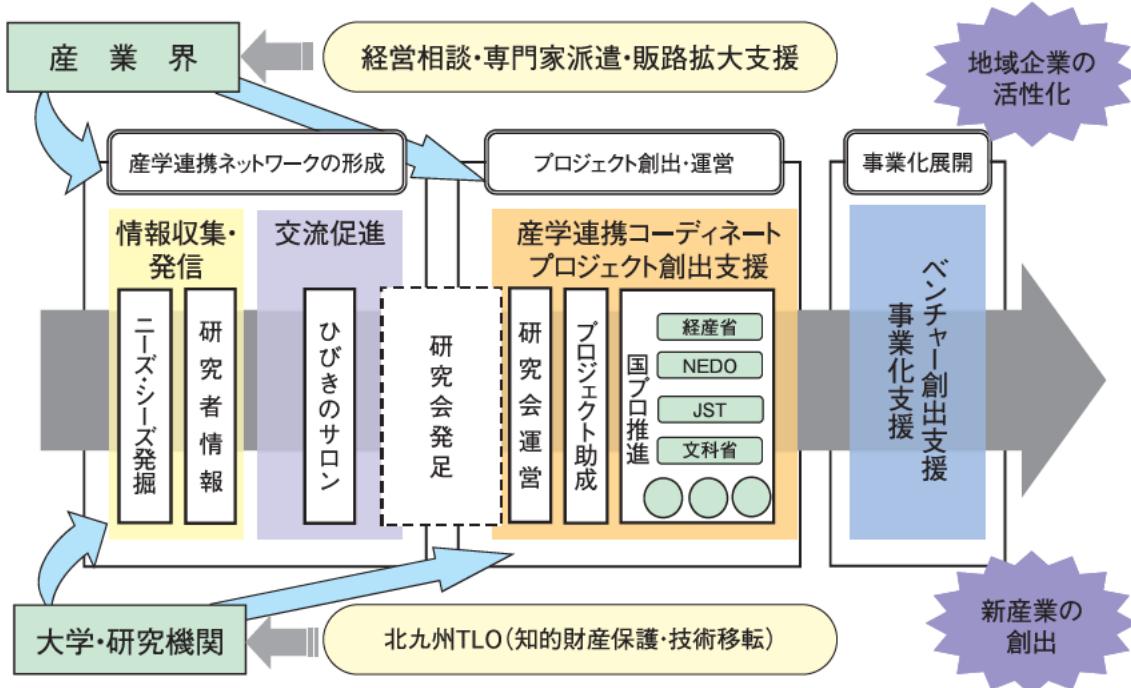
運動場



テニスコート

# 産学連携の推進

## 産学連携の取り組み(全体フロー)



## 情報収集・発信、産学交流の促進

### 学研都市内研究者の情報提供

- FAISのHP上に「研究者情報データベース」を構築  
——技術キーワードや所属、研究者名等で検索可能
- データベースの情報を基に「北九州学術研究都市の研究者情報」(ダイジェスト版)を作成

毎年、市内外の企業等に配布

【H30年度配布数】 ◎ダイジェスト版 約2,000部



研究者情報データベース  
TOP画面



研究者情報冊子等

### メールマガジンによる情報発信

- 「産学連携センターNews」を配信中(平成16年9月～)  
セミナー情報や産学連携に関するトピックを随時掲載

◎配信先	約7,300件
◎配信件数	821通配信 (平成31年4月1日現在)
◎毎週月曜日配信	

## 常設の産学交流の場

### 産学交流サロン(ひびきのサロン)の開催

北九州学術研究都市から新たな産学連携の動きが次々と生まれてくることを目指し、産学官から複数の研究者等が特定の技術テーマについて自由に意見を交換する交流の場「産学交流サロン」を開催しています。平成14年度のスタートから平成30年度までに176回開催し、のべ17,254人が参加しています。

#### 【平成30年度実績】

日 時	テーマ	講 師	参 加 人 数
第166回 5/10	日本・インド・米国の最先端科学技術	カリフォルニア大学 Pramod Khargonekar 氏 京都大学 山本 裕 氏 インド工科大学 D.Manjunath 氏 九州工業大学大学院 柴田 智広 氏 北九州市立大学 櫻井 和朗 氏	134
第167回 6/18	人工知能技術の発展と社会実装の展開	産業技術総合研究所 麻生 英樹 氏 北九州工業高等専門学校 滝本 隆 氏 九州工業大学大学院 我妻 広明 氏	98
第168回 8/3	ソフトロボティクスの最前線	大阪大学 細田 耕 氏 東京大学 新山 龍馬 氏 九州工業大学大学院 高嶋 一登 氏	68
第169回 8/24	介護ロボット普及に向けた重点施策・普及活動と機器の事例紹介	厚生労働省 田口 黙 氏 ノーリツプレシジョン(株) 中嶋 伸生 氏 富士ソフト(株) 二宮 恒樹 氏	66
第170回 10/5	産業界で活躍する技術系人材に求められるものとは ～第5回カーエレ・カーロボ連携大学院交流会～	アイシン精機(株) 白井 誠 氏 九州工業大学大学院 森江 隆 氏 北九州市立大学大学院 大垣 翔矢 氏 (公財)北九州産業学術推進機構 富村 道徳 氏	64
第171回 11/14,15	合同企画 第171回産学交流サロン「ひびきのサロン」と 第12回IPS海外連携シンポジウム (ISIPS2018)	早稲田大学大学院 田中英一郎 氏 上海交通大学 Mr. Zhao Hai	110
第172回 1/25	「クルマの未来館ひびきの」リニューアル記念セミナー	(公財)北九州産業学術推進機構 高田 守 氏 日産自動車(株) 伊藤 知広 氏	105
第173回 2/15	ロボットの挑戦～未来のものづくりを変える！～	神戸大学大学院 横小路泰義 氏 九州工業大学大学院 田向 権 氏 首都大学東京 和田 一義 氏	69
第174回 3/7	「SIPパワーエレクトロニクス 自動車用高耐熱パワーモジュールの開発」成果報告会	内閣府 古田 裕志 氏 内閣府 大森 達夫 氏 早稲田大学大学院 巽 宏平 氏 (株)三井ハイテック 清水 孝司 氏 九州工業大学大学院 匹田 政幸 氏	97
第175回 3/8	多様な環境で作業する自律的ロボットのデザイン	Edinburgh 大学 Vijayakumar 氏 産業技術総合研究所 阪口 健 氏 九州工業大学 浦 環 氏	65
第176回 3/13	北九州e-PORTパートナー総会・交流会	PayPay(株) 児玉 葵 氏 新日鉄住金ソリューションズ(株) 宗森 敏也 氏 (株)ソルネット 西野 幸 氏 (株)システムトランジスタ 高橋 周矢 氏 YK STORES(株) 吉田 一直 氏 中央大学 大橋 正和 氏	143

※法人名は、サロン開催時の名称です。

## 産学連携の推進「北九州学術研究都市フォーラム」

**開催趣旨／**北九州学術研究都市の生産性向上に係る取り組みを北九州市、北九州商工会議所、大学、地域企業と一緒にとなって全市的に拡げていくスタートアップとして開催したもの。

**テークマ／**革新的生産性向上

**実施状況／**①日時：平成30年12月11日(火)・12日(水)

②会場：北九州学術研究都市

③内容：基調講演、研究交流会、シンポジウム、セミナー、関連展示等

④来場者数：延べ1,461人



基調講演



シンポジウム



研究交流会

## 産学共同による研究会の企画運営

### 平成30年度研究会活動

先端的で波及効果が高いと予想される技術分野に関するテーマや、事業化の可能性の高いテーマについて、産学共同による研究会を企画・運営し、研究開発につなげる活動を進めています。

また、研究会の取り組みは、国等プロジェクトの採択につながっています。

平成30年度は「エネルギー・マネジメント研究会」など11の研究会を運営しました。

### エネルギー・マネジメント研究会

産学連携の下、スマートエネルギー・シェアリング（熱エネルギー）の事業化に向けた課題の整理や実証等につながる検討を進めるため、「産業スマートエネルギー・シェアリング研究会」を部会として創設しました。



EIPに関する意見交換会

## 研究成果の特許化と技術移転《北九州TLOの運営》

FAISは「北九州TLO（Technology Licensing Organization）」を運営し、地域の大学等の研究者が生み出した研究成果（発明）を特許化し、それらを民間企業へライセンス契約等によって技術移転しています。この技術移転により企業から得られたライセンス収入等の大半を研究者や大学に還元し、新たな研究開発につなげています。北九州TLOの保有技術シーズは、ホームページでも紹介しています。

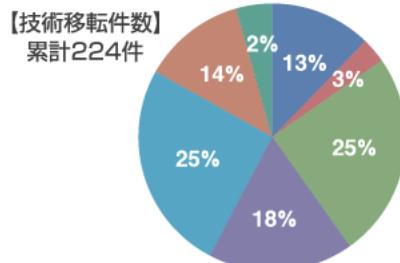
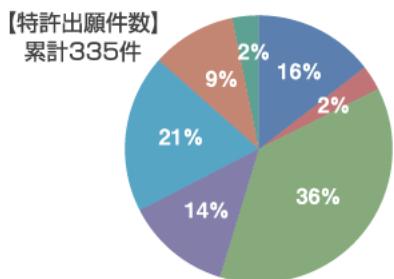
### 北九州TLOの仕組み・特許出願等



#### 研究成果提供大学等

九州工業大学、産業医科大学、北九州市立大学、九州歯科大学、西日本工業大学、  
九州共立大学、中村学園大学、北九州工業高等専門学校

これまでの特許出願およびライセンス契約の件数（累計）と技術分野の内訳



#### 【技術分野】

- 健康、医療、医療
- 食品、農工業
- 情報技術、電気、機械
- 生産技術、新素材
- エネルギー、環境、運輸
- 建設、土木、建築
- その他

#### これまでに事業化・製品化された事例（一部掲載）

名 称	発明者・研究代表者
水添加型の界面活性剤系組成物（環境に優しい泡消火剤）	北九州市立大学 上江洲 一也 教授
医学実習用解剖台（ホルムアルデヒドの直接曝露防止）	産業医科大学 大和 浩 教授、菊田 彰夫 教授 他
マイクロ波を用いた減圧乾燥方法及びその装置	九州工業大学 鶴田 隆治 教授 他
あらゆる流動物質を測定できる極めてシンプルな測定機	九州歯科大学 西原 達次 教授、柿木 保明 教授 他
アスペルギルス属菌及びリゾーブス属菌の混合培養系を用いたアミラーゼの生産方法（「高い酵素活性」や「豊富な酸」を持つ新しい麹菌）	北九州市立大学 森田 洋 教授 他

#### 環境に優しい泡消火剤



#### マイクロ波を用いた減圧乾燥方法 及びその装置



#### あらゆる流動物質を測定できる 極めてシンプルな測定機



# 研究開発支援

## 企業・大学等が実施する研究開発に対する支援

大学等の研究機関、市内企業が実施する研究開発のために補助金を交付し、新技術・新製品の開発を支援しています。

### FAISの研究開発に対する支援制度(平成30年度)

#### ◎新成長戦略推進研究開発事業

名 称	概 要	対象者	補助額（補助率）	助成期間
シーズ創出・実用性検証事業	北九州市新成長戦略に定める成長分野に 関し、実用化を目指すシーズを見出し、 その可能性を検証するための研究開発に 対して補助金を交付	市内大学等 (1)若手・チャレンジ枠 (2)一般枠	100万円(1/1)	単年度
実用化研究開発事業	北九州市新成長戦略に定める成長分野に おいて、技術の高度化・製品の実用化並 びに新産業の創出を目指す研究開発に 対して補助金を交付	市内企業等	中小企業 500万円(2/3) その他 500万円(1/2)	最長2年度

### 平成30年度採択実績

#### 【シーズ創出・実用性検証事業】13件

採択テーマ名		申請企業・大学
若手・チャレンジ枠	パワーエレクトロニクス2.0対応リアルタイム寿命診断機能付きインバータの開発	九州工業大学
	従来のアナタース型よりも長波長の光に応答できる酸化チタン光触媒による室内空気浄化	北九州市立大学
	空間改善サービス実現のための人間の表情に基づく空間分析	北九州工業高等専門学校
	太陽光と空気・水から過酸化水素をin situ合成する新規人工光合成システムの開発と実証	九州工業大学
	並列プログラミング言語Elixir(エリクサー)における数学/AI/ML基礎ライブラリの開発	北九州市立大学
	市内の休耕田で栽培した古代米を用いた、新しい古代米日本酒「とよとよ」の生産技術開発と商品化	北九州市立大学
一般枠	微生物殺虫剤の大量生産技術を可能とする機能性ペプチドの探索	九州工業大学
	遠景動画中のモヤの除去技術の研究	(一社)無人機研究開発機構
	地球温暖化抑制を指向した太陽光によるCO <sub>2</sub> 連続還元システムの開発	九州工業大学
	ダイヤモンドによる次々世代超高耐圧デバイス:高耐圧化表面構造作製技術	九州工業大学
	自動トマト収穫ロボット搭載用の熟れ度検出のための革新的触覚センサーと機械学習自動判別システムの開発研究	九州工業大学
	高機能複製不可能LSIとそれを用いたIoT用高速・低消費エネルギー認証システムの研究	早稲田大学
人との協調作業を実現するロボット搭載型無人搬送車の自律走行性能の向上		北九州工業高等専門学校

#### 【実用化研究開発事業】7件

採択テーマ名		申請企業・大学
自己発電式バイオセンサを基盤とする農水産物の鮮度・品質管理IoTシステムの開発		(株)クアンド
視覚障害者や高齢者を含む交通弱者のための道案内システムの開発		(株)コンピュータサイエンス研究所
非加熱生物材料を用いた多様なプラセンタ化粧品の開発と高安全性品質評価法の開発		(株)FILTON
微細粉塵を凝集させ集塵するバグフィルタ集塵機の研究開発		(株)山本工作所
自立支援に着目した「杖型立ち座り動作支援機器」の開発		(株)芳野ケアサポート
【継続】抗酸化マテリアルを利用した肌用の新規塗布剤・貼付剤の開発		(株)新菱
【継続】マグネシウム合金粉末を用いた積層造形品の開発		(株)戸畠製作所

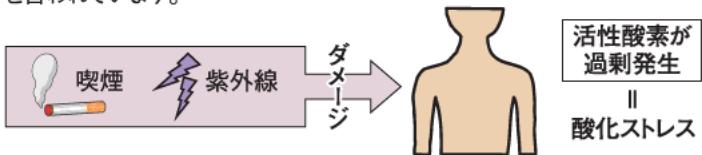
## FAIS助成制度の主な成果事例(平成30年度採択テーマより)

### 【研究テーマ】抗酸化マテリアルを利用した肌用塗布剤および機能性食品の開発

#### 【申請企業】(株)新菱

人は生活する中で喫煙、紫外線などの影響(ストレス)により、常に体の中で活性酸素が発生しています。

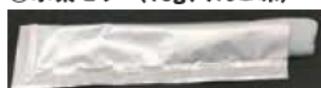
強い酸化力を持つ活性酸素が過剰に作られる(酸化ストレス)と細胞膜破壊やDNAの損傷を引き起こし、生活習慣病や老化の原因になっていると言われています。



#### ▶ 抗酸化能を持つ素材を利用した製品

弊社は活性酸素を選択的に消去する水素が、細胞レベルで活性酸素を抑制できることを確認し、製品開発を行いました。

##### ○水素ゼリー(10g、りんご味)



近日  
発売予定

水素水(1.6ppm)の約15倍の水素添加に成功しました。

## 国等の資金を活用した研究開発プロジェクトの推進

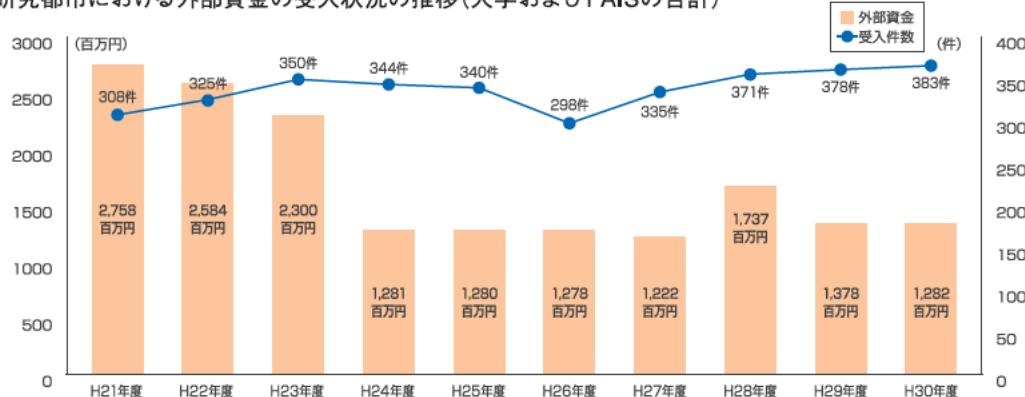
「戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省)」や「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム(文部科学省)」等、国等の資金を活用した産学連携の研究開発プロジェクトを積極的に実施しています。

平成30年度は、各大学における受託研究等と合わせて383件のプロジェクトに取り組みました。

中でも経済産業省が進める「スマートものづくり応援隊事業」では、中小企業の生産性向上を目的に「指導者育成(スクール)事業」と「現場派遣事業」を実施しました。

### 外部資金の積極的な獲得

北九州学術研究都市における外部資金の受入状況の推移(大学およびFAISの合計)



### 近年の主な研究開発プロジェクト

#### 経済産業省

外観検査装置の検査精度向上のための曲面配線技術を用いたLEDリング照明の開発 【戦略的基盤技術高度化支援事業】	28年度～30年度 9,800万円
圧延用大径ロールの開発 【戦略的基盤技術高度化支援事業】	29年度～R元年度 1億5,000万円
スマートものづくり応援隊事業 【中小企業経営支援等対策費補助金】	30年度 730万円

#### 内閣府

ハイブリッド自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発 【戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）】	26年度～30年度 8億4,000万円
--	------------------------

#### JST

スマート社会創造に向けたソーシャルイノベーション研究開発・実証拠点 【世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム】	27年度～28年度 3億3,500万円
--	------------------------

#### 文部科学省

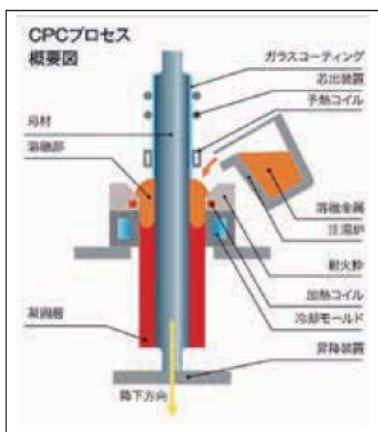
IoTによるアクティビシニア活躍都市基盤開発事業 【地域イノベーション・エコシステム形成プログラム】	28年度～R2年度 2,150万円
微細加工プラットフォーム 【ナノテクノロジープラットフォーム事業】	24年度～R3年度 8,000万円

## FAISが支援した研究開発プロジェクトの主な事例

**【事業名】** 長寿命で優れた耐摩耗性・耐肌荒れ性等を有するΦ1000mm以上の圧延大径ロールの開発  
**【実施企業】** (株)フジコー（北九州市戸畠区）、九州工業大学（共同研究機関）  
**【研究期間】** 平成29年10月6日～令和2年3月31日の3年間  
**【事業費】** 3年間で約1.5億円（内2/3の約1億円が補助金として助成される）

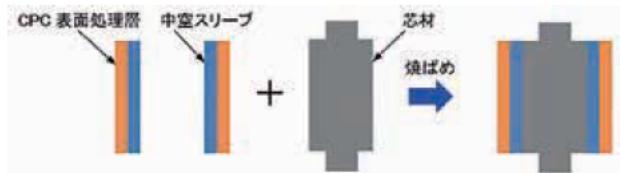
**【狙い】** 製鉄ライン等の大径圧延用ロール等の表面特性の高度化、高寿命化、メンテコスト削減

**【技術】** フジコー保有技術による優れた表面特性を持つCP C管(Φ800mmMax)の拡管技術を開発



**【体制】**(株)フジコー、九州工業大学、FAIS(管理機関)、第一高周波工業(アドバイザー)、拓南製鐵(川下企業アドバイザー)

**【課題】** ①CPC法により表面改質した中空2層スリーブ品(Φ800mm程度)の製作  
 ②拡管装置(今回の開発技術)による拡管加工(Φ800⇒1400mmへ)  
 ③拡管した2層スリーブに芯材を焼嵌め固定し、中実ロール完成



**【進捗】** 平成29・30年度の課題をクリアし、令和元年度事業を推進中

## ロボット・IoT・AI等を活用した生産性向上支援事業 ～スマートものづくり応援隊事業～

### 1. 指導者養成スクールの開催

中小企業の生産性向上を支援するため、ロボット、IoT、AIといった新技術の導入をコーディネートする人材育成を目的とするスクールを開講。

実施時期：平成30年8月～平成31年1月（全13講座）  
 内 容：生産性向上のための基礎編、IoT編、ロボット編など  
 受講者数：延べ約250名

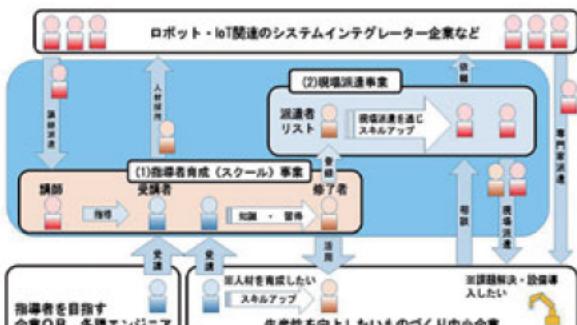
### 2. 中小企業への専門家派遣

中小企業がロボットやIoT導入により生産性向上を目指す際に、知見を有する専門家を派遣。

派遣回数：計50回

### 【スクールのカリキュラム（平成30年度）】

No.	科 目	開 催 日	受講者数
基 础 編	1 ロボットとは、少量多品種生産における合理化のための装置である	8月3日	62名
	2 ロボット・IoT支援施策の紹介		
	3 現場改善の基本知識と実践方法		
I o T 編	1 ものづくりIoT現場革新セミナー	9月5日	50名
	2 IoTビジネスモデル構築ワークショップ	9月19日	14名
	3 設計から量産まで3Dで創るスマートものづくり入門セミナー	9月28日	23名
	4 1万円以下でできるIoT(Raspberry Piで始めるIoT)	10月4、5日	22名
ロ ボ ッ ト 編	1 産業用ロボット基礎講座	10月11日、11月29、30日	12名
	2 パラレルリンクロボット基礎講座	10月25日、12月6、7日	13名
	3 ビジョン応用講座	11月1日、12月13、14日	13名
	4 協働ロボット体験講座	11月8日、12月20日	11名
	5 ロボットシミュレータ活用講座	11月15日、1月10日	9名
	6 ロボット・IoT連携体験講座	11月22日、1月17日	10名



# 技術拠点化の推進

## 半導体・エレクトロニクス技術拠点化の推進

### 半導体・エレクトロニクス関連企業支援

半導体設計ツールやIC・MEMS微細加工装置、評価・解析機器を整備し、半導体・エレクトロニクス関連企業に対して、設計から製造、評価・解析までの一貫した設備環境を提供し、北九州市における半導体産業の振興に努めています。

#### ■ IC・MEMS微細加工環境の提供

共同研究開発センターの半導体設計ツールと微細加工設備をベースに、IC・MEMSの微細加工プロセスの提供を行っており、文部科学省所管のナノテクノロジープラットフォームの一員として、「微細加工」分野の学術的な基礎研究から産業界における研究開発まで幅広く、大学、企業、研究機関などを支援しています。

- 設計から評価まで一貫した研究開発環境が提供できます。



#### ■ 半導体評価・解析環境の提供

信号発生器や波形分析器等の評価機器、X線透視装置やマイクロスコープ等の解析機器及び環境評価装置など、充実した評価・解析環境を提供しているほか、ひびきのLEDアプリケーション創出協議会などの研究グループに対し技術サポート等を実施しています。

### 半導体技術者育成講座(ひびきの半導体アカデミー)の開催

半導体技術者育成講座「ひびきの半導体アカデミー」では、半導体・エレクトロニクス関連企業の技術者などを対象として、社会や産業界に貢献するアプリケーションを創出するための知的基盤や技術力・研究開発力の向上等につながるプログラムを提供しています。

当アカデミーは、学研都市開設以来、これまでに累計約6,000名の方に受講いただき、数多くの半導体技術者を輩出しています。

- 平成30年度／講座数 7講座、参加者数 256名

講座風景



回路 設計・実習講座(講師:A.LSIデザイン 山田代表取締役)



MEMS入門講座(講師:東北大学 江刺教授)

## 自動車技術拠点化の推進

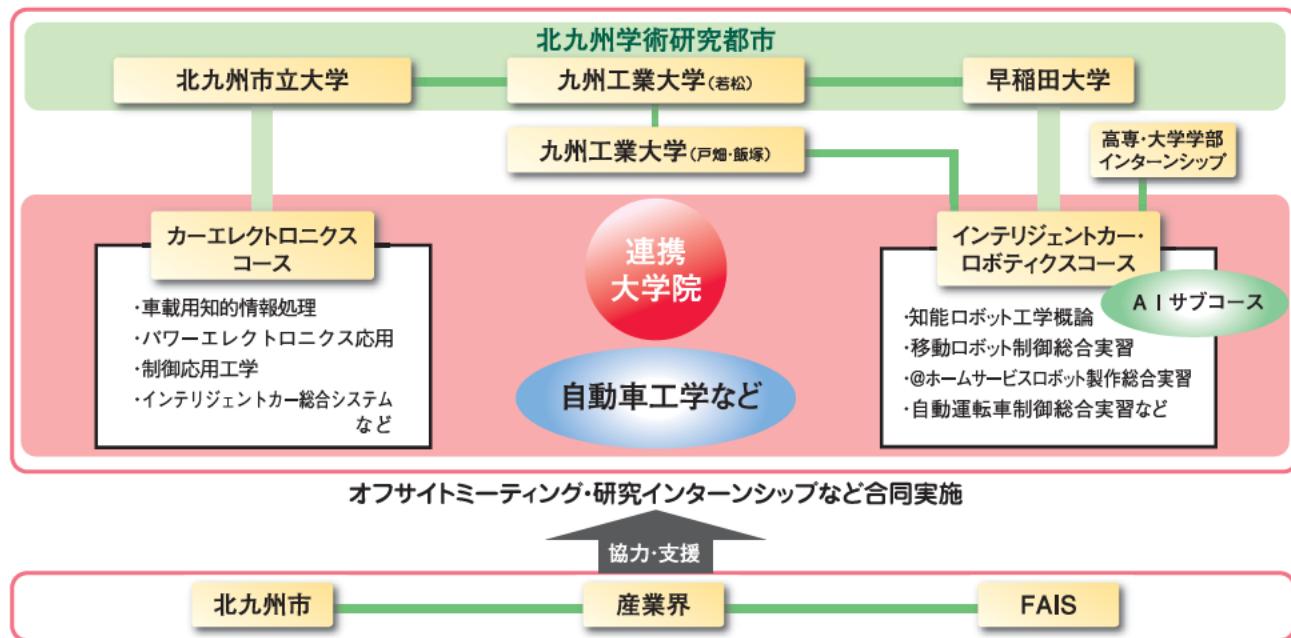
北九州地域における次世代自動車技術の拠点化を目指し、北九州学術研究都市における高度人材の育成を支援するとともに、産学連携による先端的研究開発を支援しています。

### 人材育成の推進

#### (1) 連携大学院

自動車とロボットの分野で次世代を担うリーダーとしての高度専門人材の育成を目的に、学研都市の3大学が運営する連携大学院の教育プログラムを支援します。

同大学院では、人工知能(AI)の研究開発を担う人材育成が急務であることを踏まえ、平成29年度から「インテリジェントカー・ロボティクスコース」の科目を見直し、新たに「AIサブコース」を設置するとともに、更なる教育内容の充実を進めます。



#### (2) 社会人のIoT・AIの教育プログラム(enPiT-everi)

代表校である北九州市立大学を含む5大学が2019年4月から社会人向けリカレント教育プログラムを開講します。生産性向上や新事業展開に不可欠な、IoTに関する新しい技術を体系的に修得できます。「スマートファクトリー」「インテリジェントカー」「スマートライフケア」「スマート農林畜産」「おもてなしIoT」など5つのコースを準備しています。

FAISは、地域産業の競争力強化を図る人工知能とロボット技術を駆使したIoT技術の社会実装を推進する実践的人材育成コースの開発・実施をサポートします。

#### プログラム提供校

代表校: 北九州市立大学  
連携校: 九州工業大学、熊本大学、  
宮崎大学、広島市立大学

#### スケジュール

平成30年度: 一部の授業、実習開始  
令和元年度: 本格開始



## 研究開発の推進

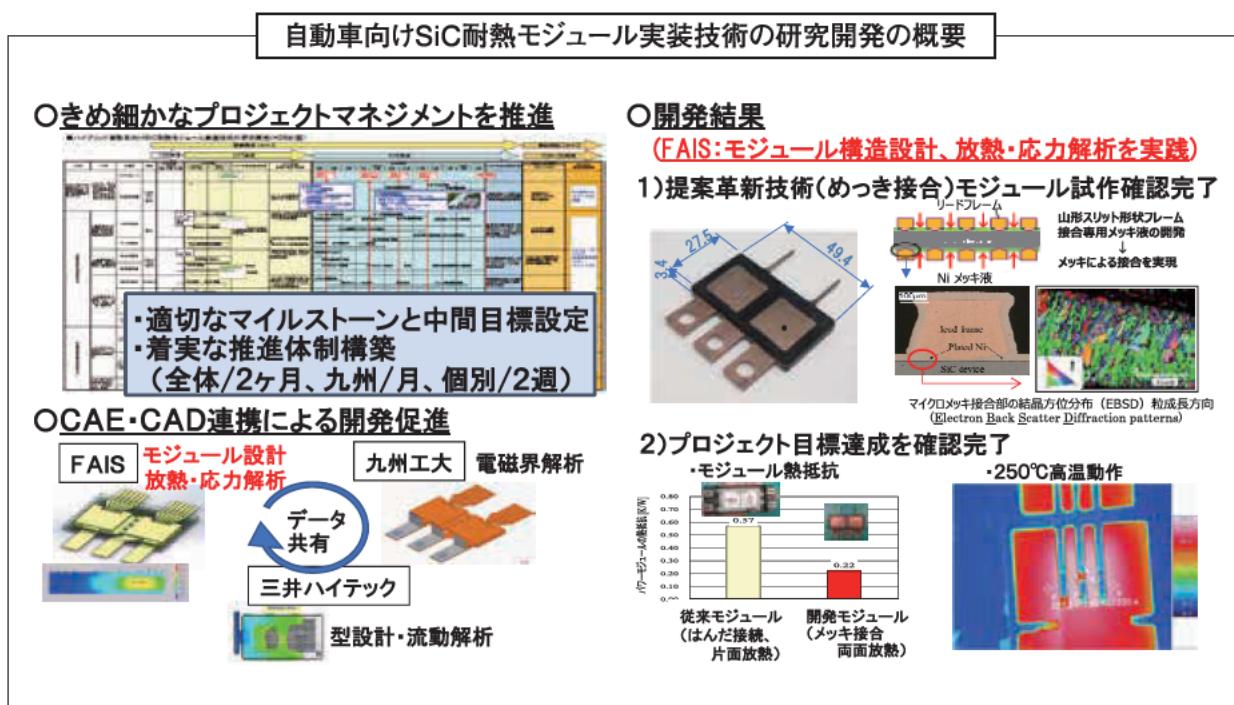
学研都市の研究シーズを活かした産学連携による研究開発をコーディネートし、次世代自動車技術やAIの社会実装に向けた研究開発機能の拠点化を目指します。

### (1) 次世代自動車技術に関する研究開発支援

産業界からのニーズが強く、実効性の高い研究テーマについて、国のプロジェクトを活用した研究開発を支援しています。

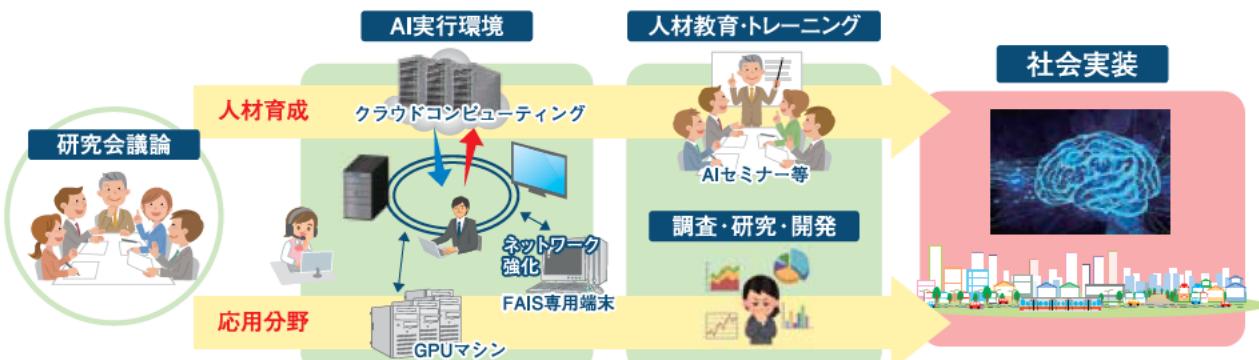
#### 【現在の研究テーマ】

- ①自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発
- ②理論知識型AIとデータ駆動型AI統合による自動運転用危険予測装置の構築と公道実証



### (2) AIの社会実装に向けた研究開発

企業ニーズと学研都市研究者の技術シーズのコーディネートを行い、AIを活用した電力需要の予測システムの確立・自動化や、難病の治療をサポートするシステムの実現など様々なテーマについて研究開発を進めています。また、人との親和性の高いシステム構築に貢献する基盤技術(スパースモデリング)や、実時間処理や低電力消費を実現するAI向けのハードウェアの研究開発を支援します。



## ロボット技術開発拠点化の推進

### ロボット研究開発支援

- ロボット関連プロジェクト支援
- 市内発ロボット創生事業
- 実証・事業化の支援
- ロボット産業マッチングフェアの開催
- 国際ロボット展等への出展支援
- 各種技術セミナーの開催



開発支援したロボットを国際ロボット展へ出展

\*北九州ロボットフォーラムの事務局として新ロボット開発を推進

### 産業用ロボット導入支援

- ロボット導入による生産性向上支援
- ものづくり人材育成講座の開催
- ものづくり企業への現場派遣
- 各種補助金の申請支援
- システムインテグレータとの連携推進
- ロボット導入につながる情報提供



産業用ロボット導入支援センターの設備

\*産業用ロボット導入支援センターの名称のもとに、ロボット導入に関わる取り組み実施

### [平成30年度の取り組み]

#### ロボット研究開発支援

##### 人と協働する海岸清掃ロボット

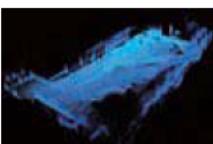
ロボット開発支援事業(H29-30)



海岸清掃におけるごみ運搬を助ける目的で、人と協働して移動するごみ搬送ロボットの開発を支援。試作品は実際に海水浴場での清掃活動で使用し、人追従などの機能検証を実施。

##### 山林環境計測ロボット

ロボット開発支援事業(H29-30)



山林における木々の伐採に先立ち木の本数や太さを見積もる目的で山林環境マップを作成するために、傾斜した林道や障害物等を回避しながら自律走行する移動ロボットの開発を支援。

#### ロボット教育用プラットフォーム

市内発ロボット創生事業(H30)



将来のロボット人材の育成には、実際にロボットを作り自由に動かすことができる基盤ツールが不可欠である。この基盤ツールは今後必修となるプログラミング教育においてもプログラミング的思考力や課題解決力の育成に有効である。

このような基盤ツールとして役立つロボット教育用プラットフォームの開発を支援した。

研究開発支援

#### 産業用ロボット導入支援

産業用ロボット導入支援センターでは、市内企業の生産性向上・ものづくり力強化を目的にロボット導入を総合的に支援します。

- ロボット導入に関する企業訪問・技術相談
- 人材育成（ロボット技術者およびシステムインテグレータ）
- ロボット導入に関する情報発信

##### H30年度の成果

- ロボット導入支援：11社を支援し6社に導入
- 国プロ採択
  - ・スマートものづくり応援隊事業
  - 企業訪問・現場派遣：188件
  - 生産性向上スクール：全15回 参加者合計68名
  - ・地域中核企業創出・育成支援事業
  - システムインテグレータのネットワーク化
  - 活動紹介のパンフレット作製



①産業用ロボット基礎



②パラレルリンクロボット基礎



③ビジョン応用



④協働ロボット体験



⑤ロボットシミュレータ活用



⑥ロボット・IoT連携体験

導入支援

## ICT活用による新規プロジェクトの創出

### 事業相談持込・ビジネスマッチング

・相談持込は活性化しており、昨年度から倍増 → 以前相談したパートナーからのリピート依頼も増加

年度	新規事業	補助金申請支援	販路拡大支援	イベント関連	技術紹介	マッチング支援	合計
H29年度	8件	3件	1件	4件	1件	9件	26件
H30年度	15件	3件	2件	10件	4件	18件	52件

・事業シーズを持つe-PORTパートナーと地域企業とのマッチングを図る『FAIS×NCB ITビジネスセッション』(西日本シティ銀行共催)をはじめ、主催／共催イベントでの登壇機会の提供によるパートナーのマッチング／プロモーション支援



※法人名は、イベント開催時の名称です。

### 新ビジネス創出支援補助金

#### ■北九州e-PORT構想2.0 新ビジネス創出補助金概要(平成30年度)

名 称	概 要	対象者	補助額（補助率）	補助期間
調査研究・実証支援補助	ビジネス化することを見据えた実証実験（コンセプト実証、プロトタイプ開発）を支援	市内企業等	100万円(2/3)	1年以内
事業化支援補助	試作済の商品やサービスを基に製品化を行い、販路拡大など事業の確立を目指す取り組みを支援		500万円(2/3)	

※上記補助金は、令和元年度より、一部制度等の変更を行っています。

#### ■平成30年度採択実績

「北九州e-PORT構想2.0新ビジネス創出支援補助金」の募集を平成30年8月に実施し、12件の応募から以下の4件の採択を決定。

今後、事業化に向けた支援を実施。

種 別	事業者名	申請事業名
事業化支援補助	計測検査(株)	クラウドAIでのコンクリート構造物の変状自動抽出サービス
調査研究・実証支援補助	(株)ハピクロ	保育園業務改善システム実証事業
	(株)ハチたま	自社製品(猫IoTトイレ)を活用した新たなビジネスモデルの構築
	(株)ソルネット	スマートデバイスによる対人サービス業の生産性向上

### 新サービス創出事例

#### 【IoTを活用した北九州市認可保育園を開園】



株式会社ハピクロ  
平成30年にIT/IoT技術を導入した北九州  
市認可小規模保育事業所「にじいろのはな  
保育園」を開園し、保育士の精神的・肉体的な  
業務負荷を軽減するため、業務改善ソリュー  
ションを開発・提供。  
平成29年度「北九州みらいのビジネス創り  
対話会」をきっかけに起業し、金融機関との  
マッチング等でe-PORTを活用。  
現在、平成30年度「新ビジネス創出支援  
補助金」に採択され、新サービス提供に向  
け実証実験中。

#### 【LoRaWANを活用したソリューション開発】



「位置情報管理システム」

構内での作業員の安心安全の確保のため、LTEの届きにくい作業現場で位置情報をリアルタイムに把握するサービス「LoRaWAN」を活用した作業者の位置情報管理システム」を事業化。

このソリューションは、e-PORTの事業マッ  
チングを活用。開発にあたり、e-PORTパート  
ナーである株式会社インターネットニアティ  
ブよりLoRaWANの技術ノウハウの提供を受  
けるなど協業により実現。

## 国家戦略特区の取り組み

### 介護ロボット等を活用した先進的介護の実証・実装

平成28年に国家戦略特区「介護ロボット等による先進的介護の実証・実装」に指定された北九州市の委託を受け、介護ロボット等の導入による介護の質の向上や介護現場の生産性向上、介護従事者の負担軽減、介護ロボット等の市場拡大などの実現に取り組んでいます。



### 介護ロボット等導入・実証事業

介護従事者の負担軽減を目的とした介護ロボット等の導入を進めるため、介護施設において、介護作業の分析や介護ロボット等の導入、実証を行っています。

#### ■介護施設の作業観察及び分析

労働現場や労働災害に関する調査・分析に経験、実績、知見のある学術機関等と共同で、介護施設における介護従事者の作業を観察・分析し、身体的負担や時間的負担等の課題を抽出しました。



作業観察風景



導入教育風景

#### ■介護ロボット等の導入と実証

作業観察・分析によって明らかになった課題を解決するための介護ロボット等を、介護施設と協議のうえで選定し実証を行いました。実証にあたって、導入教育や運用マニュアル作成を実施し、介護従事経験の多寡や年齢、性差によらず介護ロボット等を活用することができるよう努めました。導入後には再度、作業観察・分析を行い、導入した介護ロボット等の効果検証及び、導入教育や運用マニュアルの効果検証を行いました。



施設職員と会員の意見交換

### 介護ロボット等開発事業

北九州市が推進する先進的介護の実現に向けた取り組みの一環として、介護現場のニーズに即し、また介護従事者の身体的・精神的・時間的負担の軽減に寄与し得る実用的な介護ロボットの開発・改良を支援しています。



会員間の意見交換

また、開発・改良された介護ロボット等の実証がタイムリーかつ迅速に実施できるよう、自前で倫理審査委員会を運営しています。

#### ■北九州市介護ロボット開発コンソーシアム

現場ニーズに沿った実用的な技術開発と特区事業効果の最大化に貢献するため、介護従事者の負担軽減、介護現場の生産性向上等に資するロボット関連技術の開発に取り組む企業・団体を募集しています。会員への開発・改良支援として、介護現場における作業分析データの提供や実証フィールドの提供、安全性検証のサポート、倫理審査受審のサポート、開発費補助等を行っています。また、介護現場と会員との意見交換会を開催するなどニーズとシーズのマッチングにも取り組んでいます。

平成30年度は補助金制度を新設し、「介護記録の活用と効率化を目的とした電子化システムの開発」、「ベッド上アシストツール（体位変換等支援機器）の改良」の2件に対して開発補助を行いました。

●平成31年4月現在：会員数 35企業 5大学 4機関

# 中小企業・ベンチャー企業への総合的支援

## 中小企業の総合的支援

### 中小企業の経営支援

#### ◎総合相談・休日創業相談の実施

中小企業診断士等の専門家を窓口に配置し、市内中小企業が抱える様々な相談に対応しています。また、平日に来訪が困難な創業予定者には、休日(土・日)相談を実施しています。

●平成30年度実績／総合相談件数916件、休日創業相談3件

#### ◎巡回相談の実施

直接企業に出向いて様々な相談に応じる巡回相談員を配置し、訪問企業に対し支援メニューや支援担当部署等の紹介をしています。

●平成30年度実績／287社

#### ◎専門家の派遣

経営革新等に積極的に取り組もうとする中小企業に対し、専門家(登録252名)を派遣して支援をしています。

●平成30年度実績／24件、135回

### 中小企業支援センター

チーフマネージャー

河端 宏 (かわばた ひろし)



地元金融機関出身  
金融機関での長年の経験を活かし、中小企業の資金繰りや融資相談、創業相談など、経営全般に関わる相談への支援をきめ細かく行う。

マネージャー

堺 武志 (さかい たけし)



合同会社 JEXPO 代表  
技術士(総合技術監理、建設、上下水道部門)である一方、ヨーロッパ等海外展開を支援する企業を自ら立ち上げた経験を生かす。

マネージャー

百々 美香 (もも みか)



合同会社企画室M 代表  
企業プランディング、新規事業プロデュース、ITサービスの活用等を得意とする。女性起業家支援にも力を入れている。

マネージャー

落合 弘 (おちあい ひろむ)



落合弘税理士事務所 所長  
税務・会計の専門家として、事業計画の策定、資金調達、会社設立、事業承継等相談者の視点に立ちわたりやすいアドバイスを行う。

マネージャー

則松 佳孝 (のりまつ よしかず)



則松佳孝税理士事務所 代表  
特に福祉に関する業務を得意とし、社会福祉法人・NPO法人の会計業務にも精通。相談者に対し、専門用語を使わない理解しやすいアドバイスを心掛けている。

マネージャー

畠井 隆志 (もみい たかし)



アルテックソリューションズ(株) 代表取締役  
一級建築士の資格を持ち、グローバル・コンサルティング会社、製造業経営者及び技術者の経験を活かして、企業の持続的成長を支える仕組みづくりなど、総合的な支援を行なう。

巡回相談・マッチング担当

村田 信敏 (むらた のぶとし)



中小企業診断士  
市内の製造業を対象に訪問し、各種相談に応じる。支援施策や担当部署を紹介。あわせて、製造業の受発注のマッチングを担当。

#### ◎創業支援の実施

開業資金の調達や事業計画の策定など創業に関する相談や創業セミナーを開催することにより、創業希望者に対し開業までの支援を行っています。

●平成30年度実績／創業34社

#### ◎マッチングコーディネートの実施

専門的知識や幅広い人脈を持つマッチング担当者が市内のものづくり中小企業の取引先や提携先を紹介し、販路開拓を支援します。

●平成30年度実績／マッチング件数59件、成約件数4件

## 知的財産の活用支援

### ◎北九州知的財産支援センターの運営

北九州地域の中小企業の新技術・新製品開発や新たな特許取得等を促進するため、知的財産権に関する相談・指導や特許活用等の支援を行っています。

●平成30年度実績／発明相談69件

特許相談1,122件

### 北九州知的財産支援センター

知財トータル

サポート

熊本 洋

(くまもと ひろし)



電機、窯業メーカー出身  
製品開発において多くの特許出願実績を有し、知財業務に精通。  
知財基礎力の向上、特許等出願、知財戦略等トータルで支援を行なう。

知財トータル

サポート

武内 洋介

(たけうち ようすけ)



住宅設備メーカー出身  
研究、開発、製造の経験を活かし特許・意匠・商標の出願サポートに留まらず、知的財産を通して企業の業績向上に貢献できるよう支援を行なう。

# 財団運営

## 評議員名簿

(令和元年6月10日現在)

五十音順

氏名	役職名
梅本 和秀	北九州市副市長
利島 康司	北九州商工会議所会頭
西原 達次	九州歯科大学長
原田 信弘	北九州工業高等専門学校長
東 敏昭	産業医科大学長
平井 寿敏	産業技術総合研究所九州センター所長
廣渡 健	九州電力(株)執行役員北九州支社長
松本 豊	(公社)九州機械工業振興会会长
見雪 和之	福岡県商工部新産業振興課長

## 役員名簿

(令和元年6月10日現在)

五十音順

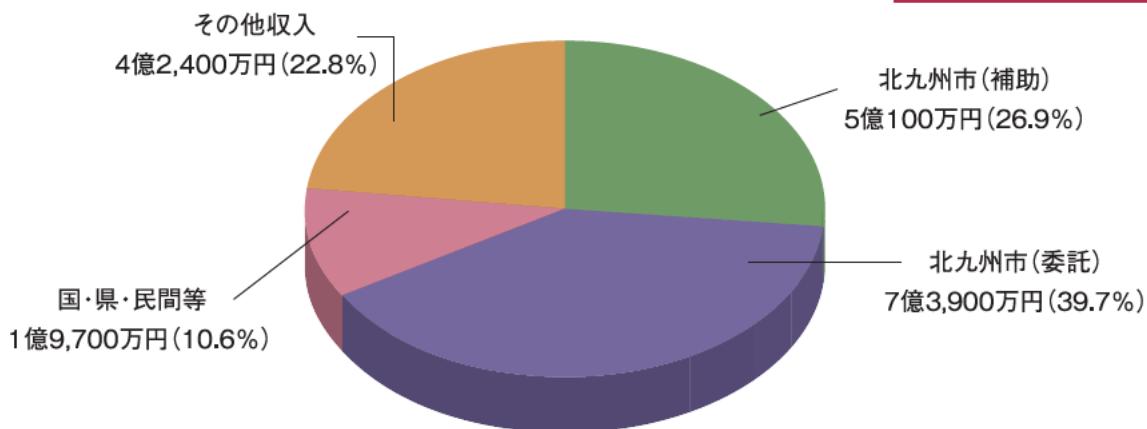
役員の種類	氏名	役職名
理事長	松永 守央	(公財) 北九州産業学術推進機構
副理事長	重松 崇	(公財) 北九州産業学術推進機構
専務理事	松岡 俊和	(公財) 北九州産業学術推進機構
理事	井上 文人	早稲田大学理事
//	自見 榮祐	(一社) 北九州中小企業団体連合会会长
//	富高 紳夫	北九州市産業経済局企業立地・農林水産担当理事
//	松岡 信行	北九州情報サービス産業振興協会会长
//	三谷 康範	九州工業大学副学長
//	龍 有二	北九州市立大学副学長
監事	石井 佳子	北九州市会計室長
//	吉野 浩実	(株) 西日本シティ銀行常務執行役員北九州総本部長

# 平成30年度 決算資料

## 収入および支出内訳

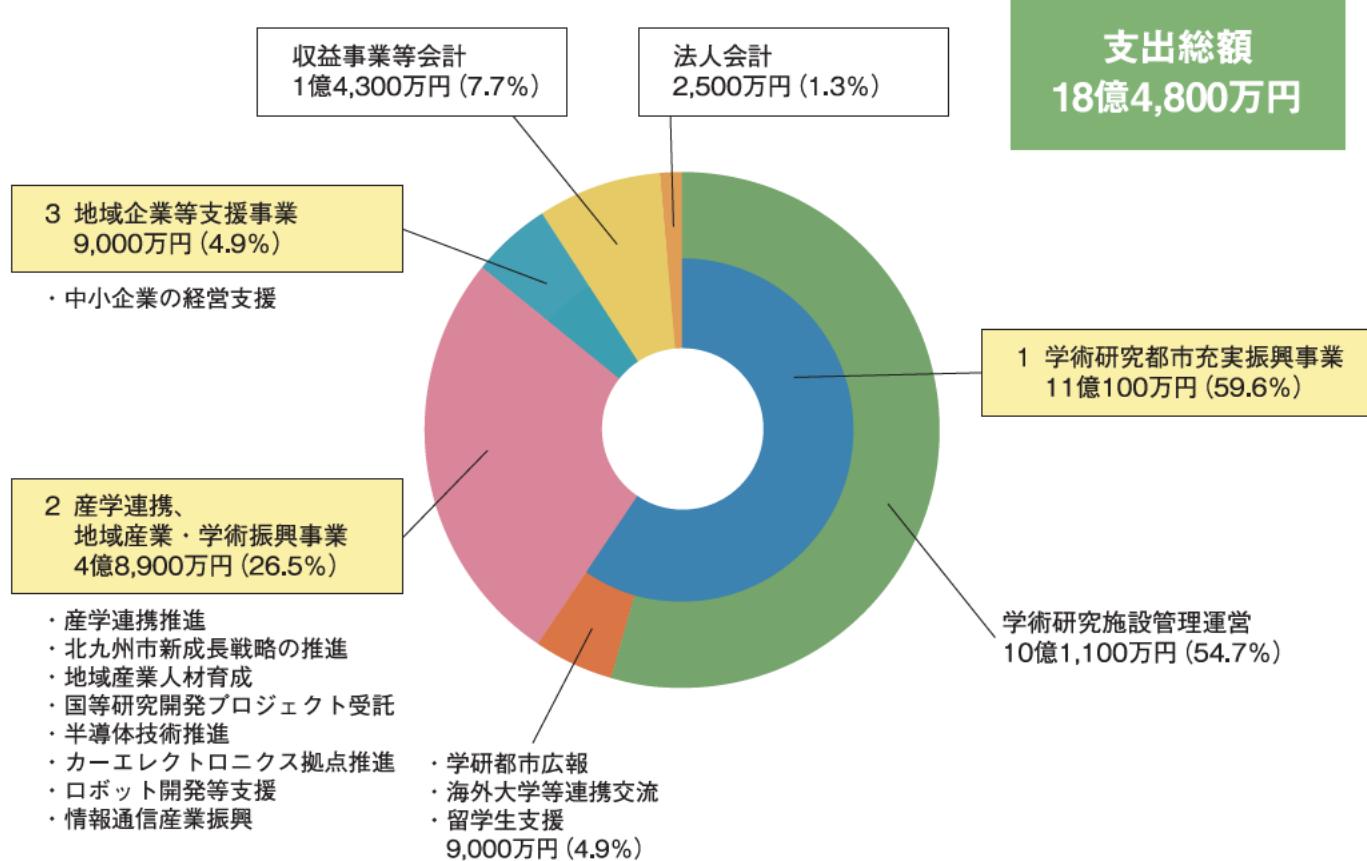
<収入>

収入総額  
18億6,100万円



<支出>

支出総額  
18億4,800万円



## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	675,436,588	531,932,172	143,504,416
未収金	199,591,872	224,404,525	△ 24,812,653
流動資産合計	875,028,460	756,336,697	118,691,763
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	199,680,807	199,680,807	0
普通預金	185,819,193	319,193	185,500,000
基本財産合計	385,500,000	200,000,000	185,500,000
(2) 特定資産			
建物	669,954,326	0	669,954,326
建物付属設備	67,656,444	0	67,656,444
構築物	2,305,685	0	2,305,685
機械設備	25,707,042	0	25,707,042
什器備品	7,532,009	0	7,532,009
無形固定資産	216,224	0	216,224
留学生支援事業積立資産	4,120,000	7,480,000	△ 3,360,000
学研都市充実強化積立資産	9,636,411	9,636,411	0
特定プロジェクト支援積立資産	24,235,760	26,835,760	△ 2,600,000
修繕積立資産	160,320,000	0	160,320,000
普通預金	110,320,000	0	110,320,000
投資有価証券	50,000,000	0	50,000,000
ビル附属設備積立資産	77,209,190	0	77,209,190
特定資産合計	1,048,893,091	43,952,171	1,004,940,920
(3) その他固定資産			
構築物	140,473	0	140,473
車両運搬具	1	3,060,583	△ 3,060,582
機械設備	8,004,528	519,730	7,484,798
什器備品	55,283,667	77,339,719	△ 22,056,052
無形固定資産	21,228,417	38,662,035	△ 17,433,618
電話加入権	73,000	1,000	72,000
保証金	20,000	0	20,000
長期未収金	805,951	0	805,951
貸倒引当金	△ 797,891	0	△ 797,891
リサイクル預託金	10,480	10,480	0
その他固定資産合計	84,768,626	119,593,547	△ 34,824,921
固定資産合計	1,519,161,717	363,545,718	1,155,615,999
資産合計	2,394,190,177	1,119,882,415	1,274,307,762
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	278,295,244	331,386,012	△ 53,090,768
前受金	120	0	120
預り金	12,319,293	10,428,283	1,891,010
預り金(敷金)	77,288,820	0	77,288,820
流動負債合計	367,903,477	341,814,295	26,089,182
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	367,903,477	341,814,295	26,089,182
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
北九州市補助金	408,895,222	51,645,609	357,249,613
国庫補助金	338,409,833	30,175,404	308,234,429
その他補助金	1	1	0
寄付金	204,120,000	207,480,000	△ 3,360,000
固定資産受贈益	1,662,500	0	1,662,500
指定正味財産合計	953,087,556	289,301,014	663,786,542
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(693,383,550)	(7,480,000)	685,903,550
2. 一般正味財産	1,073,199,144	488,767,106	584,432,038
(うち基本財産への充当額)	(185,500,000)	(0)	185,500,000
(うち特定資産への充当額)	(356,509,541)	(36,472,171)	320,037,370
正味財産合計	2,026,286,700	778,068,120	1,248,218,580
負債及び正味財産合計	2,394,190,177	1,119,882,415	1,274,307,762

## 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 基本財産受取利息	1,637,502	1,369,853	267,649
② 特定資産運用益 特定資産受取利息	93,260	0	93,260
③ 事業収益 北九州市受託事業収益 国受託事業収益 その他受託事業収益 T L Oライセンス事業収益 その他事業収益 収益事業等会計収益 ビル事業収益	738,765,592 19,039,838 108,383,798 2,167,341 243,044,911 20,266,718 131,316,795	929,751,007 12,870,000 99,626,804 1,708,192 358,833,659 19,150,062 0	△ 190,985,415 6,169,838 8,756,994 459,149 △ 115,788,748 1,116,656 131,316,795
④ 受取補助金等 受取北九州市補助金 受取福岡県補助金 受取国庫補助金 受取補助金等振替額	486,842,870 0 55,308,823 58,290,452	473,656,761 1,396,660 83,863,483 32,923,936	13,186,109 △ 1,396,660 △ 28,554,660 25,366,516
⑤ 受取寄付金 受取寄付金 受取寄付金振替額	4,926,807 3,360,000	4,160,000 2,100,000	766,807 1,260,000
⑥ 固定資産受贈益 構築物受贈益振替額	167,500	0	167,500
⑦ 雜収益 受取利息 雑収益	1 938,090	0 324,700	1 613,390
経常収益計	1,874,550,298	2,021,735,117	△ 147,184,819
(2) 経常費用			
① 事業費 役員報酬 給与 福利厚生費 会議費 涉外費 旅費交通費 通信運搬費 減価償却費 消耗品費 修繕費 印刷製本費 新聞図書費 燃料費 光熱水費 賃借料 保険料 諸謝金 租税公課 委託費 支払負担金 支払助成金 ライセンス料 支払手数料 奨学金 雑費 貸倒損失	13,145,271 225,134,193 51,379,143 1,931,033 206,140 19,165,790 11,511,078 74,217,310 15,999,467 105,990,305 2,658,808 3,913,097 490,615 236,206,196 97,543,199 2,828,455 52,866,332 29,629,310 614,946,935 109,779,642 129,119,029 802,672 6,781,818 20,280,000 363,683 0	12,852,721 224,357,739 46,520,073 935,290 269,952 18,762,453 13,830,053 50,943,514 16,590,705 71,057,162 2,219,691 4,607,994 413,093 228,395,118 171,537,588 2,225,560 53,802,018 14,907,668 768,393,269 92,549,485 142,427,867 705,003 7,047,446 18,260,000 145,840 1	292,550 776,454 4,859,070 995,743 △ 63,812 403,337 △ 2,318,975 23,273,796 △ 591,238 34,933,143 439,117 △ 694,897 77,522 7,811,078 △ 73,994,389 602,895 △ 935,686 14,721,642 △ 153,446,334 17,230,157 △ 13,308,838 97,669 △ 265,628 2,020,000 217,843 △ 1

科目	当年度	前年度	増減
②管理費			
役員報酬	4,381,757	4,611,647	△ 229,890
給与	6,980,154	5,150,689	1,829,465
福利厚生費	2,839,615	679,865	2,159,750
会議費	41,701	44,619	△ 2,918
旅費交通費	1,557,780	1,520,970	36,810
通信運搬費	196,702	141,344	55,358
減価償却費	218,858	199,210	19,648
消耗品費	368,684	745,788	△ 377,104
印刷製本費	196,452	111,024	85,428
新聞図書費	331,860	327,753	4,107
燃料費	227,394	204,902	22,492
光熱水費	74,539	70,964	3,575
賃借料	2,302,820	2,009,103	293,717
保険料	134,330	134,690	△ 360
諸謝金	1,487,400	1,334,334	153,066
租税公課	19,740	72,732	△ 52,992
委託費	1,482,345	2,754,300	△ 1,271,955
支払負担金	801,390	675,390	126,000
支払手数料	1,023,606	911,698	111,908
雜費	25,710	10,550	15,160
経常費用計	1,851,582,358	1,985,468,875	△ 133,886,517
当期経常増減額	22,967,940	36,266,242	△ 13,298,302
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①過年度損益修正益			
過年度損益修正益	805,951	0	805,951
経常外収益計	805,951	0	805,951
(2) 経常外費用			
①除却損失			
機械設備除却損	249,163	0	249,163
什器備品除却損	200,142	1,774	198,368
無形固定資産除却損	8,665,864	12,080,144	△ 3,414,280
②貸倒引当金繰入額			
貸倒引当金繰入額	797,891	0	797,891
経常外費用計	9,913,060	12,081,918	△ 2,168,858
当期経常外増減額	△ 9,107,109	△ 12,081,918	2,974,809
税引前当期一般正味財産増減額	13,860,831	24,184,324	△ 10,323,493
法人税・住民税及び事業税	1,344,000	1,075,100	268,900
法人税等調整額	0	140,000	△ 140,000
当期一般正味財産増減額	12,516,831	23,249,224	△ 10,732,393
一般正味財産期首残高	488,767,106	465,517,882	23,249,224
合併による一般正味財産増加額	571,915,207	0	571,915,207
一般正味財産期末残高	1,073,199,144	488,767,106	584,432,038
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取北九州市補助金	14,192,158	11,814,837	2,377,321
受取国庫補助金	0	1,115,964	△ 1,115,964
基本財産受取利息	1,637,502	1,369,853	267,649
一般正味財産への振替額	△ 63,455,454	△ 36,393,789	△ 27,061,665
当期指定正味財産増減額	△ 47,625,794	△ 22,093,135	△ 25,532,659
指定正味財産期首残高	289,301,014	311,394,149	△ 22,093,135
合併による指定正味財産増加額	711,412,336	0	711,412,336
指定正味財産期末残高	953,087,556	289,301,014	663,786,542
III 正味財産期末残高	2,026,286,700	778,068,120	1,248,218,580

## アクセスマップ

北九州学術研究都市

- #### ●キャンパス運営センター

- 産学連携統括センター  
　　ものづくり革新センター  
　　情報産業振興センター  
　　自動車技術センター  
　　ロボット技術センター  
　　国家戦略特区ライン



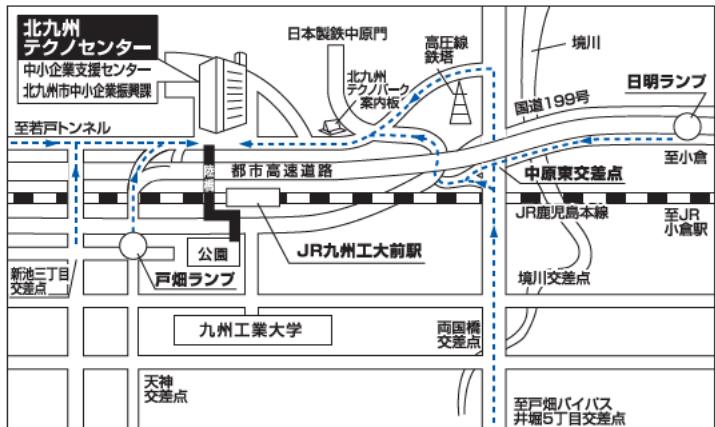
【公共交通機関の場合】 ◎J R折尾駅西口バス停 → 市営バス → 学研都市ひびきの  
◎北九州空港バス停 → 西鉄バス → 学研都市ひびきの

【車をご利用の場合】 ◎北九州都市高速道路 黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車) 折尾方面へ → 学研都市ひびきの  
※北九州都市高速道路黒崎出入口からの所要時間約20分  
◎小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 学研都市ひびきの

※所用時間小倉都心から約30分

北九州テクノセンター

- 中小企業支援センター



◎JR九州工大前駅下車北側へ徒歩3分

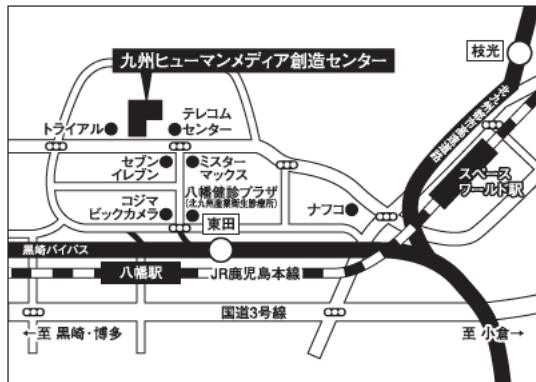
◎小倉方面から

国道199号中原東交差点よりテクノパークへ入る

◎戸畠方面から

北九州都市高速戸畠ランプへ向かってJR線をまたぐ高架を上り、料金所直前で左折してテクノパークへ入る（一方通行）

## 九州ヒューマンメディア創造センター (FAIS東田オフィス)



◎JR八幡駅から徒歩5分

◎北九州都市高速道路：東田出入口ランプから車で3分



## ご連絡・お問い合わせは

**公益財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS)の各センターへ**

【北九州学術研究都市ホームページ】 <https://www.ksrp.or.jp/>

【公益財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS)ホームページ】 <https://www.ksrp.or.jp/fais/>

北九州学術研究都市に関する全般的なお問い合わせ		E-mail / <a href="mailto:info@ksrp.or.jp">info@ksrp.or.jp</a>
キャンパス運営センター	北九州学術研究都市内 産学連携センター1階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3111 FAX 093-695-3010
大学の研究内容の活用、産学連携に関するお問い合わせ		
産学連携統括センター	北九州学術研究都市内 産学連携センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3006 FAX 093-695-3018
「革新的ものづくり」活動の支援、半導体関連企業の支援、その他研究開発プロジェクト等に関するお問い合わせ		
ものづくり革新センター	北九州学術研究都市内 産学連携センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3007 FAX 093-695-3667
ICT分野における新ビジネス創出等に関するお問い合わせ		E-mail / <a href="mailto:iipc@ksrp.or.jp">iipc@ksrp.or.jp</a>
情報産業振興センター 情報産業振興部企画課	北九州学術研究都市内 産学連携センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667
FAIS東田オフィス	九州ヒューマンメディア創造センター 〒805-0071 北九州市八幡東区東田1-5-7	TEL 093-663-2950
自動車分野における研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / <a href="mailto:car@ksrp.or.jp">car@ksrp.or.jp</a>
自動車技術センター	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1	TEL 093-695-3685 FAX 093-695-3686
ロボット分野の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / <a href="mailto:robotics@ksrp.or.jp">robotics@ksrp.or.jp</a>
ロボット技術センター	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1	TEL 093-695-3085 FAX 093-695-3525
国家戦略特区ライン(介護ロボット開発支援)の研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ		E-mail / <a href="mailto:robocare@ksrp.or.jp">robocare@ksrp.or.jp</a>
国家戦略特区ライン	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1	TEL 093-695-3046 FAX 093-695-3525
中小企業の経営、創業に関するお問い合わせ		E-mail / <a href="mailto:k_info@ksrp.or.jp">k_info@ksrp.or.jp</a>
中小企業支援センター	北九州テクノセンター1階 〒804-0003 北九州市戸畠区中原新町2-1	TEL 093-873-1430 FAX 093-873-1450